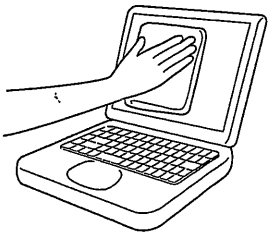
LCD 画面清掃についてのお願い

このたびはパナソニックパーソナルコンピューターをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
本機の LCD 画面は、屋外での視認性向上のため、低反射コーティングがされており、お取り扱いによっては傷つきやはがれが発生する可能性があります。そのため、本機には LCD をふくための専用布を付属しております。ご使用になる前に以下の説明を必ずお読みください。

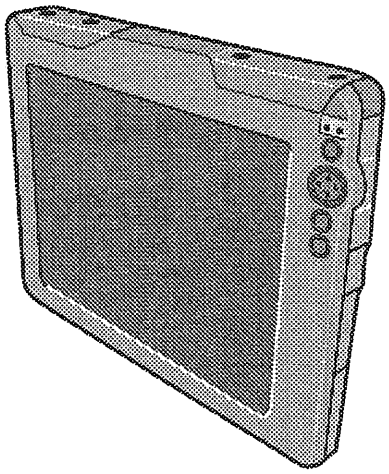
・指紋等の LCD 画面の汚れは、必ず付属の専用布でふいてください。
・専用布で LCD 画面以外をふかないでください。

＜専用布の使いかた＞

- 専用布は乾いた状態で使用してください。専用布に水や薬品を付けないでください。
- LCD 画面に付着した砂やほこりはあらかじめ、専用布の片面で軽くふき取っておいてください。この際、強くふき取ると砂やほこりでＬＣＤの表面を傷つけることがあります。
  次に、砂やほこりをふき取った面と反対の面で、指紋等の汚れをふき取ってください。砂やほこりをふき取った後は、布を洗濯（下記参照）して砂やほこりを取っておいてください。



- 布が汚れた場合は中性洗剤を使用して洗濯してください。漂白剤、柔軟材の使用や煮沸消毒をしないでください。
- LCD がぬれた場合は専用布で軽くふき取ってください。
- 本機を使用する前に、LCD 画面をふくことをおすすめします。



Panasonic®

取扱説明書
ワイヤレスディスプレイ
品番 CF-08シリーズ

もくじ

はじめに

本書について 2
安全上のご注意 3
各部の名称と働き 10
初めて使うとき 13

使ってみる

電源を入れる/切る 27
LCD（タッチパネル） 31
バッテリー 34

便利な機能／情報

ボタン 36
Quick Menu 37
ソフトウェアキーボード 39
サイン入力 42
SDメモリーカード 43
Bluetooth 44
コントロールパネル 48
上手にお使いいただくために 49

困ったとき

困ったときのQ&A 52

ソフトウェア使用許諾書 56
仕様 57
保証とアフターサービス 61

上手に使って上手に節電　保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」（➔ 3 ページ～9ページ）を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

本書について

このたびはパナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■ 表記について

お願い	:	安全にお使いいただくための情報を記載しています。
お知らせ	:	お使いいただくうえで便利な情報を記載しています。
➔	:	本書内の参照先を意味します。

- パスワードを設定していて、ユーザーとしてログオンしたとき、使えない機能や表示できない画面があります。
- 別売品の最新情報については、カタログなどをご覧ください。
- 本書の内容に関しましては、事前の予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容の一部またはすべてを無断転載することを禁止します。
- 落丁、乱丁はお取り換えします。
- 本書のサンプルで使われている氏名、住所などは架空のものです。
- 本書のイラストや画面は一部実際と異なる場合があります。

■ 商標

Microsoft とそのロゴ、Windows、Windows Vista、Windows ロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Intel は、米国 Intel Corporation の商標または登録商標です。

SD ロゴは商標です。

Citrix、ICA は、Citrix Systems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Bluetooth™ は、その権利者が所有している商標であり、パナソニック株式会社はライセンスに基づき使用しています。
Panasonic は、パナソニック株式会社の登録商標です。
その他の製品名は一般に各社の商標または登録商標です。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物質的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

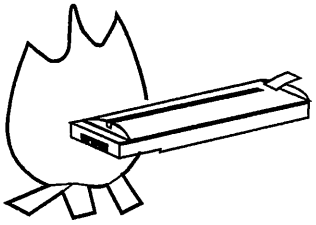
■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で、説明しています。
（下記は絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

バッテリーパックに関する注意 ⚠ 危険

火中に投入したり加熱したりしない

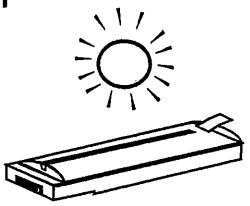
禁止



発熱・発火・破裂の原因になります。

火のそばや炎天下など、高温の場所で充電・使用・放置をしない

禁止



液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

安全上のご注意

必ずお守りください

バッテリーパックに関する注意 ⚠ 危険

プラス（＋）とマイナス（－）を金属などで接触させない

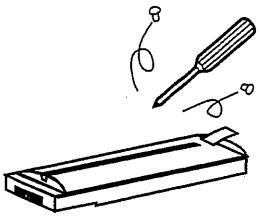
禁止

発熱・発火・破裂の原因になります。

- ネックレス、ヘアピンなどといっしょに持ち運んだり保管したりしないでください。

クギを刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしたりしない

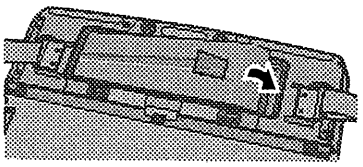
禁止



液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

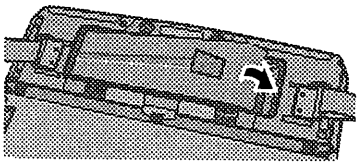
- 強い衝撃が加わったら、すぐに使用を中止してください。

必ず、指定のバッテリーパックを使用する



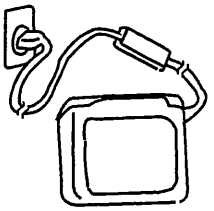
指定（付属および指定の別売り商品）以外のバッテリーパックを使用すると、発熱・発火・破裂の原因になります。

付属のバッテリーパックは、必ず本機で使用する



CF-08シリーズ専用のバッテリーパックです。CF-08シリーズ以外に使用すると、液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

指定の方法で充電する



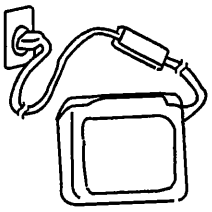
指定の方法で充電しないと、液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

バッテリーパックが劣化したら新品と交換する

劣化したバッテリーパックを使用し続けると、発熱・発火・破裂の原因になります。

⚠ 警告

異常が起きたらすぐに電源プラグとバッテリーパックを抜く



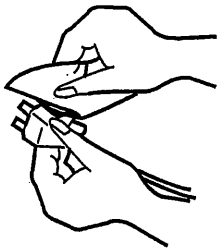
電源プラグを抜く

・破損した
・内部に異物が入った
・煙が出ている
・異臭がする
・異常に熱い

などの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。

- 異常が起きたら、すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、その後バッテリーパックを取り外して、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこりなどは定期的にとる

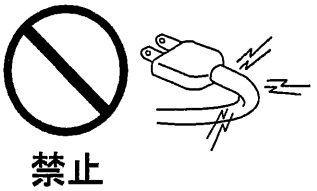


プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
  長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

電源コード・電源プラグ・ACアダプターを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない

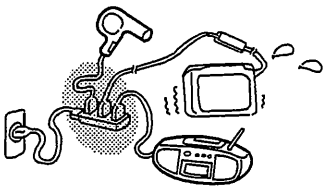


禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない



禁止

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で電源プラグの抜き挿しはしない

ぬれ手禁止

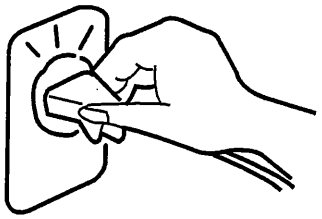
感電の原因になります。

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠警告

電源プラグは根元まで確実に挿し込む



挿し込みが不完全ですと、感電や、発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

SDメモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

禁止

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

改造しない また、分解しない

分解禁止

⚠警告
高電圧に注意 本機を分解・改造しない

[本体に表示した事項]

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。内部の端子や基板に触れたり、異物を入れたりしないでください。また、改造や分解は火災の原因にもなります。

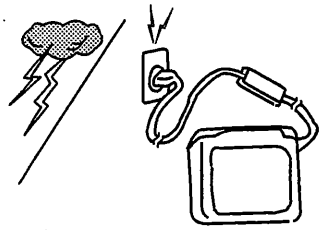
長時間直接触れて使用しない

禁止

本機やACアダプターの温度の高い部分に長時間、直接触れていると、低温やけど[*1]の原因になります。

雷が鳴りはじめたら、本機やケーブルに触れない

接触禁止



感電の原因になります。

水、湿気、湯気、ほこり、油煙などの多い場所で使用する場合は、コネクターカバーをしっかりと閉じる

内部に異物が入ると、火災・感電の原因になります。

- 内部に異物が入った場合は、すぐに電源を切って電源プラグを抜き、その後バッテリーパックを取り外し、販売店にご相談ください。

⚠ 警告

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない

禁止

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

病院内や医用電気機器のある場所では電源を切る（手術室、集中治療室、CCU[*2]などには持ち込まない）

本機からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

航空機内では電源を切る

運航の安全に支障をきたすおそれがあります。航空機内での使用については、航空会社の指示に従ってください。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があるので、電源を切る

電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

植込み型心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm以上離す

電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

[*1] 血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人（高齢者）などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

[*2] CCU とは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠ 注意

電源プラグを接続したまま移動しない

禁止

電源コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

- 電源コードが傷ついた場合は、すぐに電源プラグを抜いて販売店にご相談ください。

電源コードは、プラグ部分を持って抜く

電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

1 時間ごとに 10 ～ 15 分間の休憩をとる

長時間続けて使用すると、目や手などの健康に影響を及ぼすことがあります。

LAN コネクターに電話回線や指定以外のネットワークを接続しない

禁止

LAN コネクターに以下のようなネットワークや回線を接続すると、火災・感電の原因になることがあります。

- 100 BASE-TX、10 BASE-T 以外のネットワーク
- 電話回線（IP 電話、一般電話回線、内線電話回線（構内交換機）、デジタル公衆電話など）

不安定な場所に置かない

禁止

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

本機の上に重いものを置かない

禁止

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

⚠注意

炎天下の車中などに長時間放置しない

禁止

炎天下の車中や直射日光の当たる場所など極端に高温になる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、内部の部品が故障または劣化したりすることがあります。このような状態のまま使用すると、ショートや絶縁不良などにより火災・感電につながることがあります。

ACアダプターに強い衝撃を加えない

禁止

落とすなどして強い衝撃が加わったACアダプターをそのまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になることがあります。

- ACアダプターの修理は、販売店にご相談ください。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

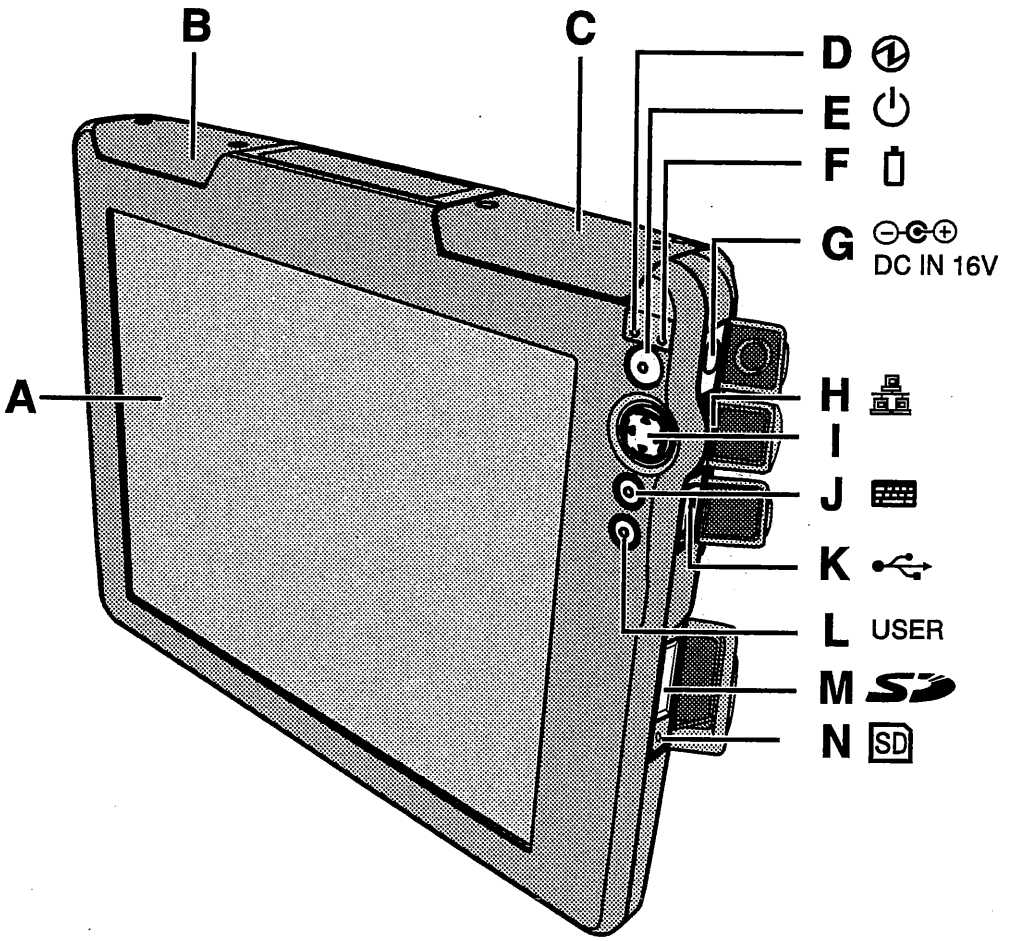
禁止

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

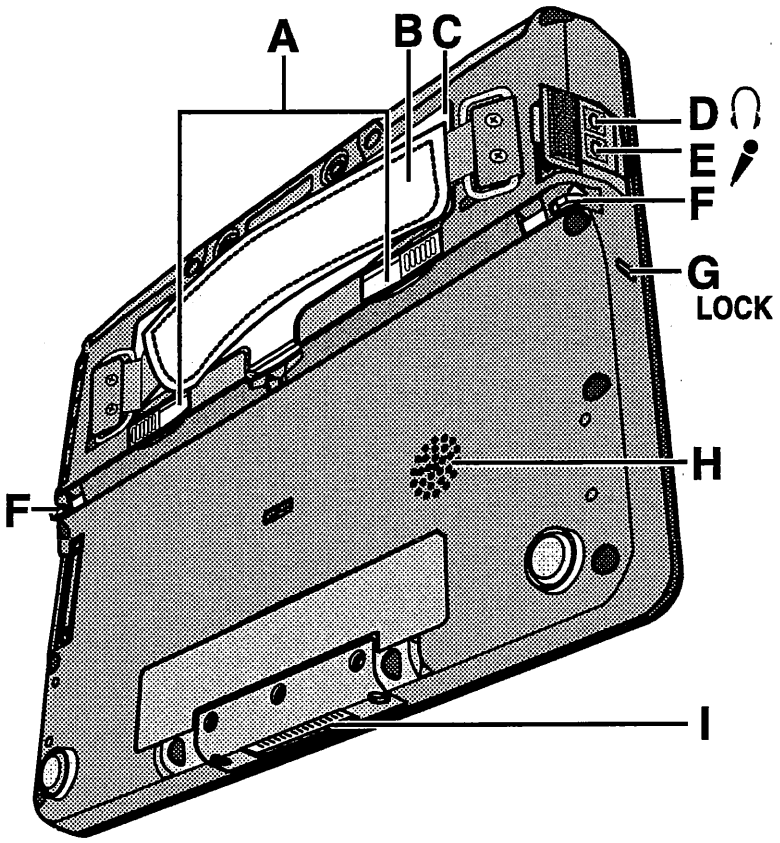
必ず指定のACアダプターを使用する

指定（付属および指定の別売り商品）以外のACアダプターを使用すると、火災の原因になることがあります。

各部の名称と働き



A. タッチパネル
B. 無線LAN用アンテナ
C. Bluetooth用アンテナ
D. 電源状態表示ランプ
E. 電源スイッチ
F. バッテリー状態表示ランプ
G. 電源端子
H. LANコネクター
I. カーソルコントロールボタン/Enter ボタン
J. キーボードボタン
K. USBポート
L. USERボタン
M. SDメモリーカードスロット
N. SDメモリーカード状態表示ランプ



A. ラッチ

B. ハンドストラップ
ベルトの長さを調節して、本機を落とさないよう、しっかり持つことができるようにします。

C. バッテリーパック

D. オーディオ出力端子
ヘッドホンやアンプ付きスピーカーを接続します。接続時、内蔵スピーカーからは音が出ません。

E. マイク入力端子
コンデンサー型モノラルマイクロホン（ミニジャック）を使用できます。
上記以外のものを使用すると、音声入力ができず、故障の原因となるおそれがあります。

F. スタイラスペンホルダー

G. セキュリティロック
Kensington社製のセキュリティ用ケーブルを接続することができます。接続のしかたについては、ケーブルに付属の取扱説明書をご参照ください。

H. スピーカー

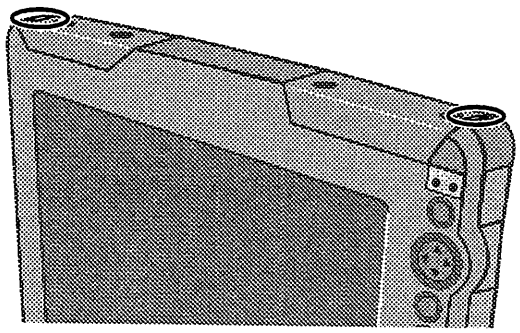
I. 拡張バスコネクター

各部の名称と働き

お願い

- 金属や磁気メディアなどをスピーカーの近くに置かないでください。
- 拡張バスコネクターの接続部分に触れないでください。この部分に汚れや傷が付くと、故障の原因となるおそれがあります。

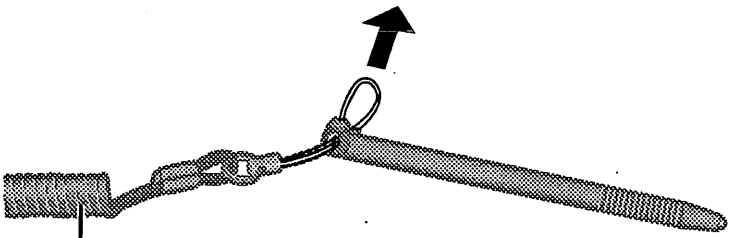
スタイラスペン用コードを使う



スタイラスペン（付属品）を落とさないように、スタイラスペン用コードで本体の右上または左上につないでおくことができます。

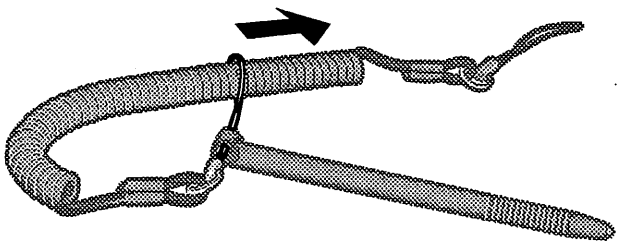
スタイラスペン用コードを取り付ける

1

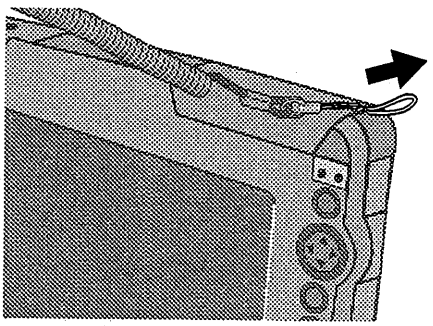


スタイラスペン用コード

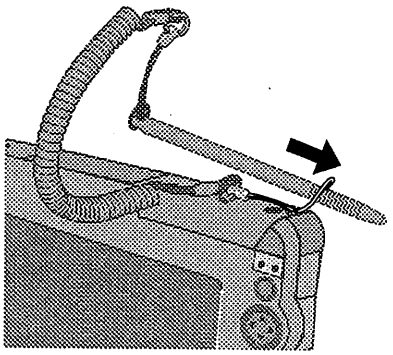
2



3



4

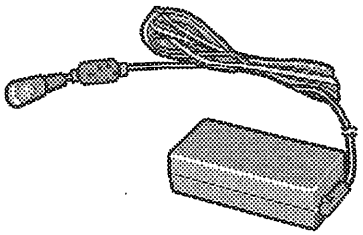


初めて使うとき

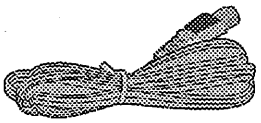
■ 準備

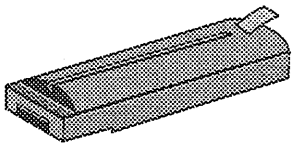
① 付属品を確認する。
万一、足りない場合、または購入したものと異なる場合は、ご相談窓口にお確かめください。

- **AC アダプター 1**
- **電源コード.....1**
- **バッテリーパック 1**



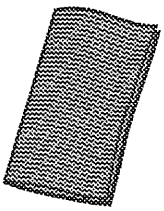
品番 : CF-AA1625A





品番 : CF-VZSU44

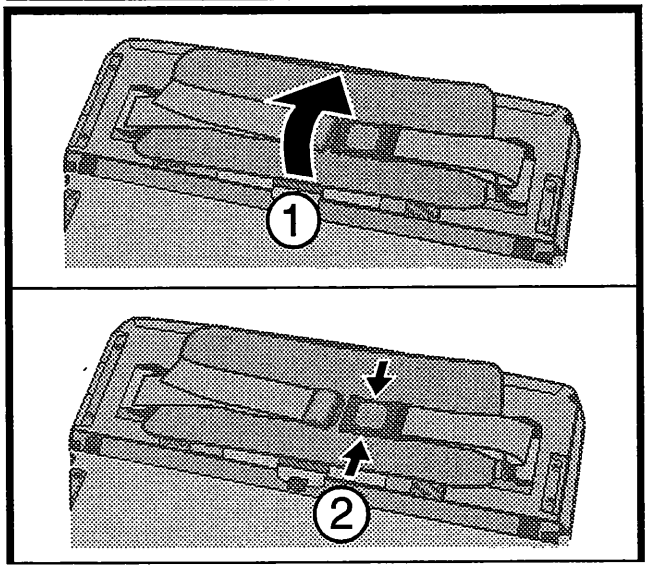
- **スタイラスペン 1**
- **専用布 1**



- **スタイラスペン用コード (➔ 12 ページ).....1**
- **取扱説明書（本書）.....1**
- **保証書 1**
- **3 年間無償保証のご案内 1**

② 本機の包装袋のシールをはがす前に、ソフトウェア使用許諾書の内容を確認する。(➔ 56ページ)

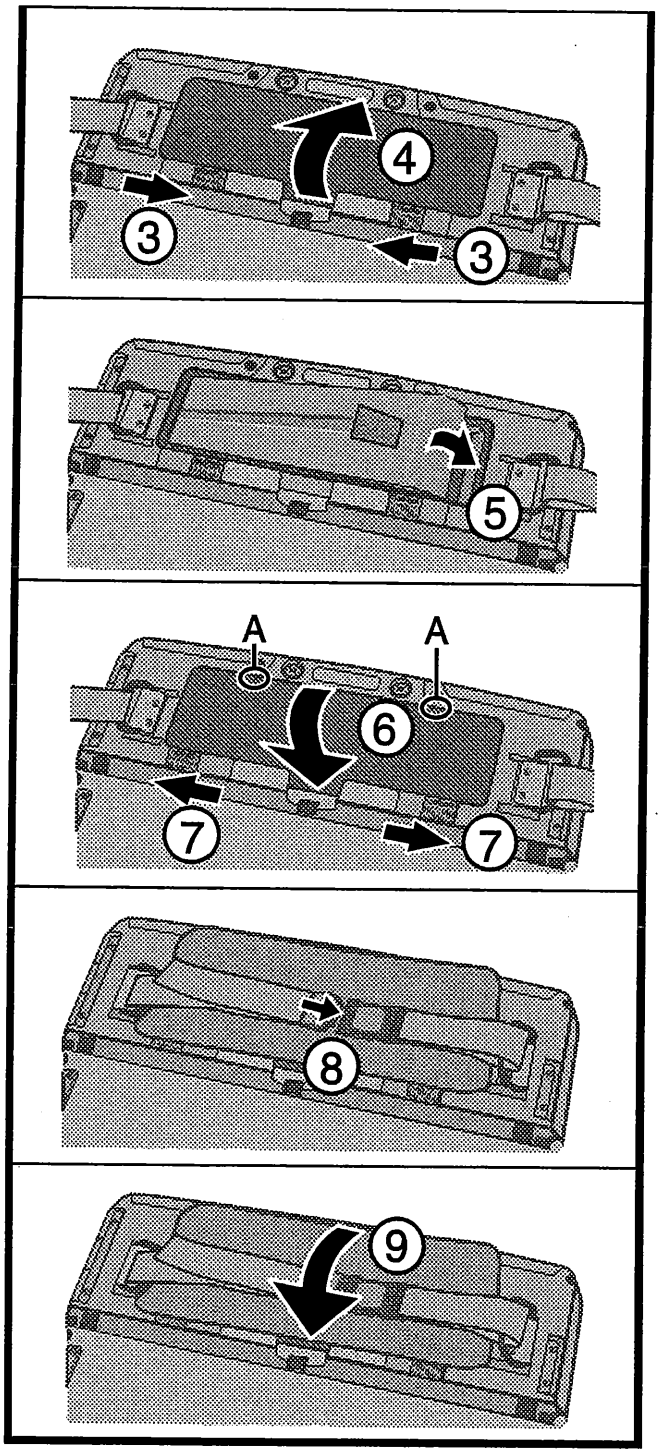
1　バッテリーパックを取り付ける。



① ワイヤレスディスプレイを裏返して、ハンドストラップのカバーを開く。

② ハンドストラップのとめ具を外す。

初めて使うとき



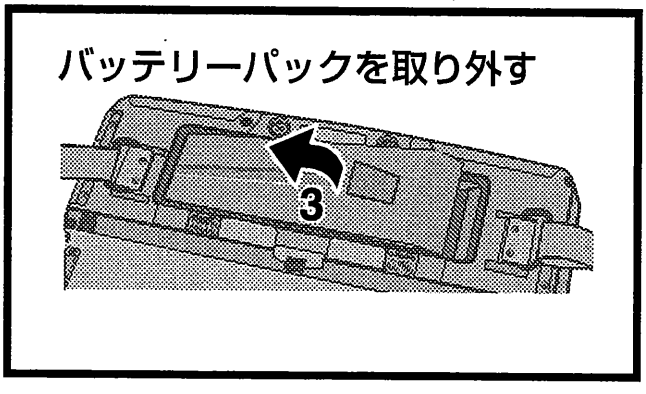
③ ラッチをスライドさせる。
④ バッテリーカバーを開いて、取り外す。

⑤ バッテリーパックをしっかりと挿入する。

⑥ (A)の部分にバッテリーカバーの突起部を差し込んで、カバーを閉じる。
⑦ ラッチを元の位置までスライドさせる。

⑧ ハンドストラップのとめ具を留める。

⑨ ハンドストラップのカバーを閉じる。



■ バッテリーパックを取り外す

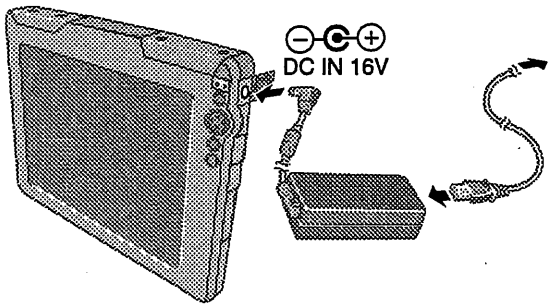
1 手順③と同じように、ラッチをスライドさせる。(➔ 上記)
2 手順④と同じように、バッテリーカバーを開く。(➔ 上記).
3 タブを引っ張ってバッテリーパックを取り出す。

お願い

- バッテリーカバーを閉じる際、バッテリーのタブを挟まないよう注意してください。
- カバーはしっかり閉めてください。しっかり閉まっていない状態で本機を持ち運ぶと、バッテリーパックがはずれて落下するおそれがあります。
- バッテリーパックと本機の接続部分に触れないでください。この部分に傷や汚れが付くと、故障の原因になるおそれがあります。
- 必ず指定のバッテリーパック(CF-VZSU44U)を使用してください。

2　ACアダプターを接続する。

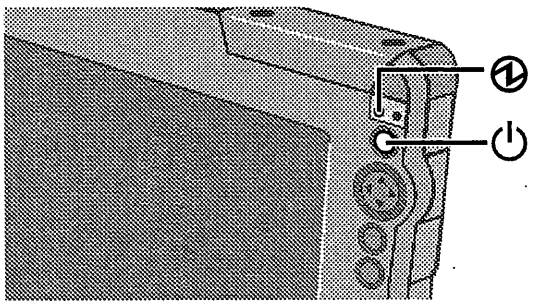
バッテリーの充電が自動的に始まります。



お願い

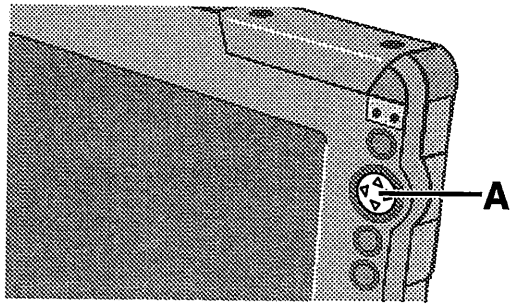
- 初めて使うときは、バッテリーパックとACアダプター以外の周辺機器を接続しないでください。

3　電源を入れる。



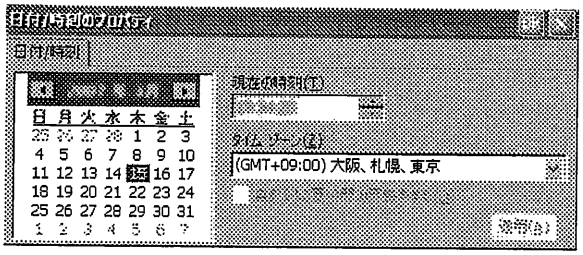
電源スイッチ⏻を約 1 秒～ 2 秒間長押しして、電源状態表示ランプ①が点灯したのを確認してからスイッチを離す。

4　タッチパネルの補正（キャリブレーション）をする。



画面上に表示される＋マークに、付属のスタイラスペンで約 1 秒間タッチする。
補正が完了したら、カーソルコントロールボタン (A) の中央を押す。

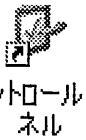
5　日付と時刻を設定する。



現在の時刻とタイムゾーンを設定して、
OK をタップする。
●タップ：➔ 31 ページ

- ソフトウェアキーボードを使って時刻を設定することもできます。
  ソフトウェアキーボード：➔ 39 ページ

■ **[日付/時刻のプロパティ]画面が自動的に表示されないとき**

デスクトップ上の 

をダブルタップして、[日付 / 時刻] をダブルタップする。

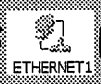
- ダブルタップ：➔ 31 ページ

[日付 / 時刻のプロパティ] 画面が表示されます。

6　ネットワークの設定を行う。

ネットワークの設定を行う前に、サーバーの設定を確認してください。

- リモートデスクトップが使用できるように設定されているか
- IP アドレスとサブネットマスク（ネットワークの中にネームサーバーがある場合は、サーバー名を使用）
- ユーザー名とパスワード

LANでネットワークに接続する	無線LANでネットワークに接続する
● ネットワークの設定を行う前に、LANが有効になっていることを確認してください。 [ETHERNET1] - [ファイル] - [有効にする] の順にタップする。 アイコン が  に変わります。	
① [ETHERNET1]をダブルタップする。	① [WIRELESS LAN 11BG1]をダブルタップする。

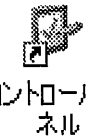
↓

② [IPアドレス]タブをタップし、IPアドレスとサブネットマスクを設定する。	
ネットワーク上にDHCPサーバーがある場合	ネットワーク上にDHCPサーバーがない場合
[IPアドレスをDHCPサーバから取得]を選択する。	[IPアドレスを指定]を選択し、IPアドレスとサブネットマスクを入力する。また、必要に応じてデフォルトゲートウェイを入力する。

↓

③ OK をタップする。

- 無線LANでネットワークに接続するとき

1 ✕ をタップする。
[WIRELESS LAN 11BG1] 画面が表示されないときは、デスクトップ上の  をダブルタップし、[WirelessLAN] をダブルタップする。

2 [ワイヤレス情報]タブをタップし、リストからアクセスポイントを選択してタップする。

3 [接続]をタップする。
ご使用のネットワーク環境に適した設定を行ってください。

7　サーバーに接続するための設定を行う。

サーバーにより、使用するクライアントが異なります。

サーバー名	クライアント名
● Microsoft® Windows Vista™ Business ● Microsoft® Windows® XP Professional ● Microsoft® Windows® 2000 Server ● Microsoft® Windows® Server 2003	Microsoft® リモートデスクトップ接続
● Citrix® MetaFrame Presentation Server 3.0 ● Citrix® Presentation Server 4.0	Citrix® ICA® Client
● Web サーバー	Microsoft® Internet Explorer

お知らせ

サーバーへの接続の設定は、「初めて使うとき」の操作を行った後に追加したり、編集したりすることができます。

Windowsサーバーに接続する場合

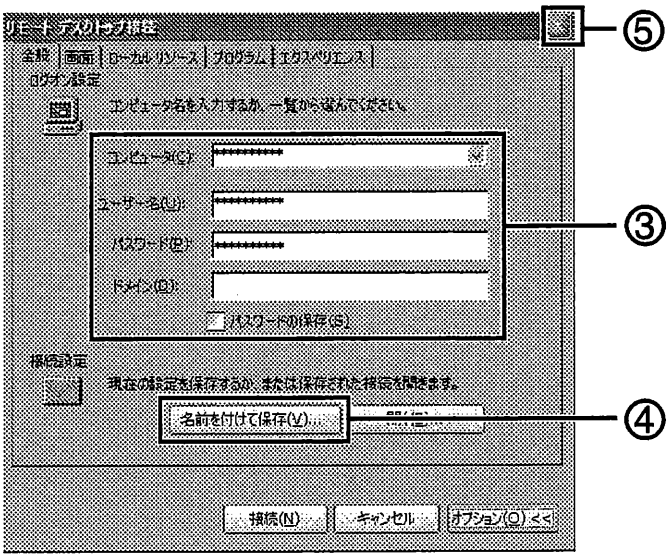
Microsoft® リモートデスクトップ接続を使って行います。

① デスクトップ上の

をダブルタップする。

② [オプション]をタップする。

③ 以下の項目を入力する。



- コンピュータ：IP アドレスまたはサーバー名
- ユーザー名：サーバーのアカウント名
- パスワード：サーバーにログオンする際に必要なパスワード
  - [パスワードの保存] にチェックマークを付けると、パスワードが保存され、次回からパスワードを入力する必要がなくなります。
- ドメイン：（必要に応じて入力してください。）

④ [名前をつけて保存]をタップする。
ファイル名を入力して、OK をタップする。

手順 ① ～ ④ の設定内容が保存され、デスクトップに

*1 が表示されます。

*1 “XXX” には、手順 ④ で入力したファイル名が表示されます。

⑤ をタップする。

初めて使うとき

Citrixサーバーに接続する場合

Citrix® ICA® Client を使って行います。

① デスクトップ上の

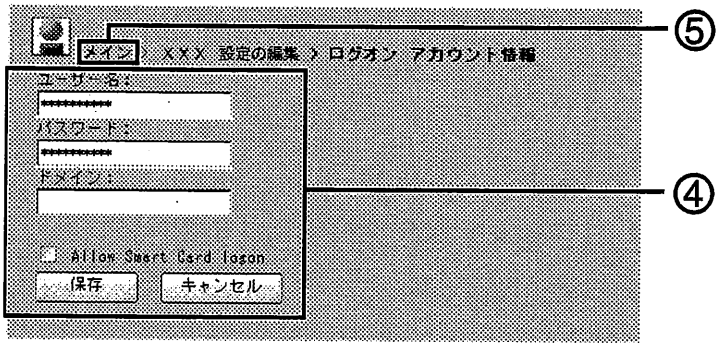
をダブルタップし、[ネットワーク接続の作成]をタップする。

② [サーバーまたは公開アプリケーション]に接続先のIPアドレスまたはサーバー名を入力し、[保存]をタップする。

③ 手順②で入力したIPアドレスまたはサーバー名を選択し、[編集]をタップする。

④ [ログオンアカウント情報の編集]をタップして、ユーザー名とパスワードを入力し（必要に応じてドメイン名も入力する）、[保存]をタップする。

⑤ 画面左上の[メイン]をタップする。



⑥ 手順②で入力したIPアドレスまたはサーバー名を選択し、[編集]をタップする。

⑦ [タイトルの編集]をタップし、[デスクトップにショートカットを作成]にチェックマークを付け、[保存]をタップし、× をタップする。

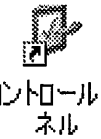
手順①～⑦の設定内容が保存され、デスクトップに

*1 が表示されます。

*1 “XXX” には、手順 ② で入力した IP アドレスまたはサーバー名が表示されます。

Webサーバーに接続する場合

インターネット上の Web ページなどへの接続は、Microsoft® Internet Explorer を使って行います。

① デスクトップ上の 

をダブルタップし、[インターネットオプション] をダブルタップする。

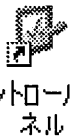
② 必要な設定を行い、OK をタップする。

8　セキュリティの設定を行う。

セキュリティに関する設定を行います。
(パスワードの設定、機能の有効／無効の切り替え)
ワイヤレスディスプレイでは、以下の 2 種類の権限でユーザーを設定することができます。

管理者	ユーザー
ワイヤレスディスプレイの操作に関する設定や、ユーザーの管理を行います。	管理者により許可された操作だけを行います。

以下の手順で、セキュリティ設定画面を表示します。

① 

をダブルタップする。

② [セキュリティ設定 (管理者)]をダブルタップする。

[管理者] タブ	[ユーザー] タブ	[デバイス設定] タブ
管理者に関する設定を行います	ユーザーに関する設定を行います	管理者とユーザーに関する設定を行います

初めて使うとき

以下の手順に従って設定を行ってください。(管理者のみ)

パスワードを設定する

まず、以下の手順で、管理者パスワードを設定します。

① [管理者]タブをタップする。

② [新しいパスワード]にパスワードを入力する。

③ [新しいパスワード(確認)]にパスワードを再入力し、OK をタップする。

④ 確認メッセージで[はい]をタップする。

フラッシュバックアップの実行を促すメッセージが表示されたら、OK をタップする。

次に、以下の手順で、ユーザーパスワードを設定します。

① [ユーザー]タブをタップする。

② パスワードを設定する。
管理者パスワード設定の手順②～④を参照してください。
(➔上記)

お願い

- パスワードは忘れないようにしてください。管理者パスワードを忘れると、ワイヤレスディスプレイを使用できなくなります。万が一忘れてしまった場合は、ご相談窓口にご相談ください。

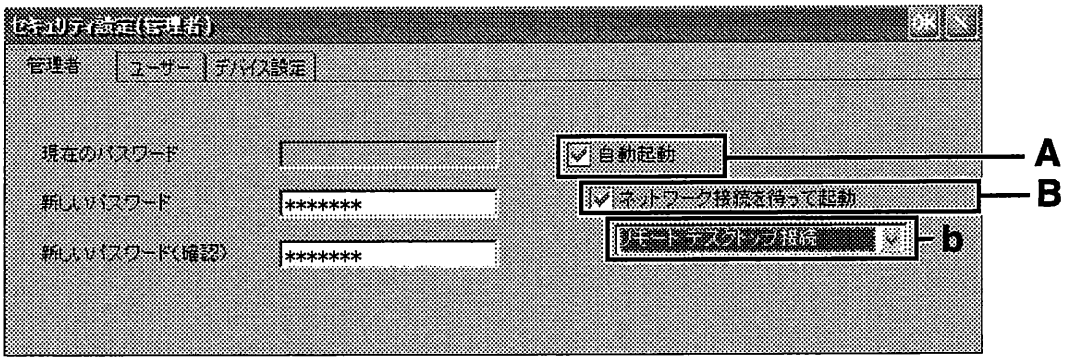
お知らせ

- 入力したパスワードは画面上に表示されません。
- パスワードはスペースを除く半角英数字40文字以内で入力してください。
- すでにパスワードが設定されている場合は、現在のパスワードを[現在のパスワード]に入力してください。
- パスワードを設定しない場合は、入力フィールドを空白のままにしておいてください。
- 管理者パスワードの設定を解除すると、ユーザーパスワードの設定も解除されます。

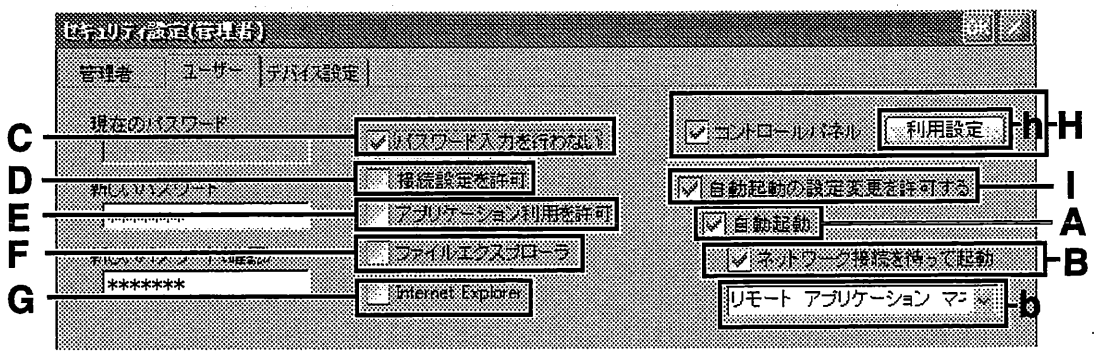
各種設定を行う

各タブをタップして、機能の有効／無効の切り替えやユーザーの操作環境の設定などを行います。

■ [管理者]タブ



■ [ユーザー]タブ



チェックボックスにチェックマークを付けると、設定が有効になります。

A. 自動起動
ワイヤレスディスプレイ起動時に、(b) で選んだアプリケーションが自動的に立ち上がります。
- Microsoft®リモートデスクトップ接続またはCitrix® ICA ® Clientを立ち上げたい場合は、（B）の[ネットワーク接続を待って起動]にもチェックマークを付けます。前もってMicrosoft®リモートデスクトップ接続またはCitrix® ICA® Clientの設定が必要です。（➔ 18 ページ）

B. ネットワーク接続を待って起動
ネットワーク接続が完了してから、(b) で選んだアプリケーションが立ち上がるように指定します。

C. パスワード入力を行わない
ユーザーがパスワードの入力なしでログオンできるようにします。
この設定を有効にすると、ワイヤレスディスプレイの電源を入れたときに [パスワード入力] 画面が表示されません。（管理者としてログオンしたい場合：USER ボタンを押しながら電源を入れると [パスワード入力] 画面が表示されますので、管理者パスワードを入力してログオンしてください。）

D. 接続設定を許可
ユーザーが新しい接続を追加したり、接続設定を変更したりできるようにします。
ネットワーク接続の追加：➔ 18 ページ

E. アプリケーション利用を許可
ユーザーがキーボードボタンや USER ボタン（➔ 36 ページ）、Quick Menu 内のボタン（➔ 37 ページ）にアプリケーションを割り当てることができるようにします。

F. ファイルエクスプローラ
ユーザーが Windows Explorer を使ってファイルを見ることができるようにします。

デスクトップ上に が表示されます。

G. Internet Explorer
ユーザーが Internet Explorer を利用できるようにし、新しい接続の追加や接続設定の変更も行えるようにします。デスクトップ上に が表示されます。

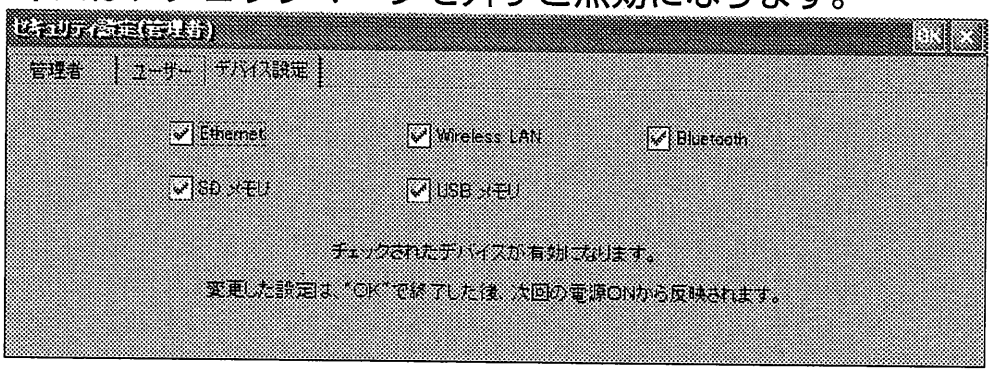
H. コントロールパネル
ユーザーがコントロールパネルで各種設定を行えるようにします。
- 以下の手順で、ユーザーが使用できる項目を設定します。

① [利用設定] (h)をタップして、[利用設定]画面を表示させる。
② [コントロールパネル]画面に表示させたい項目だけにチェックマークを付け、OK をタップする。

I. 自動起動の設定変更を許可する
ユーザーが [自動起動] (A)、(B)、(b) の設定を変更できるようにします。

■ **[デバイス設定]タブ**

以下のデバイスは、チェックマークを外すと無効になります。

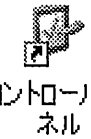


すべての設定が終わったら、OK をタップする。

フラッシュバックアップの実行を促すメッセージが表示されたら、OK をタップする。

9　設定内容を保存する。

手順 **4** ～ **8** で行った設定は、以下の手順に従って保存（バックアップ）する必要があります。
保存しないと、変更した内容はワイヤレスディスプレイの電源を切ったときに消えます。

① デスクトップ上の 

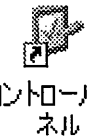
をダブルタップし、[フラッシュバックアップ]をダブルタップする。
ACアダプターが正しく接続されていることを確認してください。
（➔ 15ページ）

② [バックアップ開始]をタップする。
データのバックアップが始まります。

③「バックアップが完了しました。」のメッセージが表示されたら、OK をタップする。

本機の設定を別のCF-08にコピーする

SD メモリーカードなどを使って、本機に保存された設定内容を別の CF-08 にコピーすることができます。

① デスクトップ上の 

をダブルタップし、[フラッシュコピー]をダブルタップする。
ACアダプターが正しく接続されていることを確認してください。
（➔ 15ページ）

② コピーに使用するメディアをセットし、「バックアップデータのコピー先」でそのメディアを選択する。

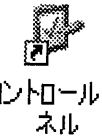
③ ファイル名を入力し、[コピー開始]をタップする。
データのコピーが始まります。
- 既存のファイルに上書きすることはできません。
  OK をタップしてファイル名を変更し、[コピー開始] をタップしてください。

④「コピーが完了しました。」のメッセージが表示されたら、OK をタップする。

⑤ メディアを取り出す。

初めて使うとき

手順 ⑥ からは、データのコピー先である別の CF-08 で行う操作です。
コピー先の CF-08 の電源を入れ、以下の手順を行ってください。

⑥ デスクトップ上の 

をダブルタップし、[ROMアップデート]をダブルタップする。

⑦ ACアダプターを接続する。(➔ 15ページ)

⑧ 手順③、④でファイルをコピーしたメディアをセットし、[参照...]をタップする。

⑨ コピーするファイルを選択し、OK をタップする。

⑩ [次へ]をタップする。

⑪ [アップデート開始]をタップする。

⑫ 確認メッセージで[はい]をタップする。
ROMアップデートが始まります。
ROMアップデートが完了するとワイヤレスディスプレイが再起動します。

電源を入れる/切る

電源を入れる

1　ワイヤレスディスプレイの電源を入れる。

管理者としてログオンする場合	ユーザーとしてログオンする場合
USER ボタンを押しながら電源ボタンを押す。 • USER ボタンを押さずに電源ボタンを押すと、管理者パスワードを入力しても、ユーザーの操作環境でしか使用できません。	電源ボタンを押す。

↓

2　[パスワード入力]画面が表示されたらパスワードを入力し、[OK]をタップする。

● ユーザーとしてログオンする場合
[セキュリティ設定 (管理者)] の [ユーザー] タブ内 [パスワード入力を行わない] にチェックマークを付けていると、[パスワード入力] 画面は表示されません。(➔ 23 ページ)

↓

3　サーバーに接続する。

Windows サーバーに接続する場合	Citrix サーバーに接続する場合
デスクトップ上の *1 をダブルタップする。 サーバーのデスクトップ画面が表示されます。 *1 “XXX” には、サーバーの設定を行った際に入力したファイル名が表示されます。 • 「初めて使うとき」の手順 **7** (➔ 18 ページ) で、「Windows サーバーに接続する場合」の手順 ③ [パスワードの保存] にチェックマークを付けていない場合 : パスワードを入力し、OK をタップする。	デスクトップ上の *2 をダブルタップする。 *2 “XXX” には、サーバーの設定を行った際に入力した IP アドレスまたはサーバー名が表示されます。
	Web サーバーに接続する場合
	デスクトップ上の をダブルタップする。

電源を入れる/切る

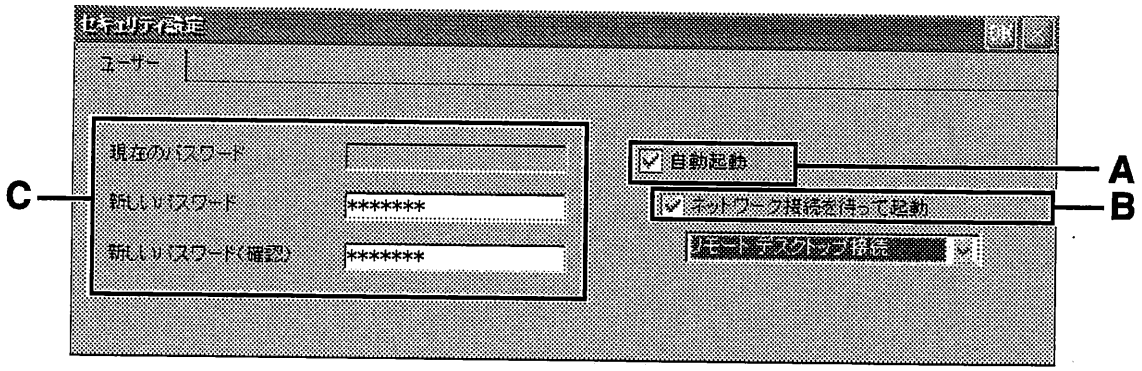
お知らせ

- ユーザーとしてログオンしているときは、以下の手順でセキュリティ設定画面を表示させることができます。

① デスクトップ上の

をダブルタップする。

② [セキュリティ設定]をダブルタップする。
以下の画面が表示されます。



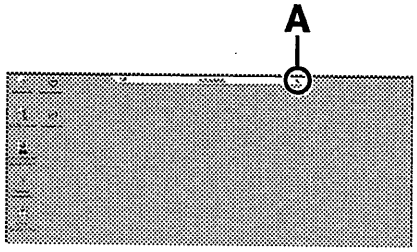
A. 自動起動 (➔ 23ページ)

B. ネットワーク接続を待って起動 (➔ 23ページ)
- [セキュリティ設定 (管理者)] 画面の [ユーザー] タブ内 [自動起動の設定変更を許可する] にチェックマークを付けていない場合は、[自動起動] (A)、[ネットワーク接続を待って起動] (B) を設定することはできません。

C. パスワード
パスワードを設定する：➔ 22 ページ
- [セキュリティ設定 (管理者)]画面の[ユーザー]タブでユーザーパスワードが設定されている場合、この画面でパスワードを削除することはできません。
- [セキュリティ設定 (管理者)]画面の[ユーザー]タブでユーザーパスワードが設定されていない場合、この画面で新しいパスワードを設定することはできません。

■ 接続を切断するには

- [スタート] - [ログオフ] - [ログオフ] の順にタップする。



< Microsoft® リモートデスクトップ接続で接続している場合のみ>
以下の手順で作業中の状態を保持したまま接続を切断できます。

- [x] (A) をタップし、メッセージが表示されたら [OK] をタップする。

設定を行う（管理者のみ）

■ 設定を変更したら

ワイヤレスディスプレイの電源を切る前に、「初めて使うとき」の手順 **9** を参照して、設定の保存（バックアップ）を行ってください。（➔ 25 ページ）

■ 保存した設定内容を削除するには

以下の手順で行います。

① デスクトップ上の

をダブルタップし、[フラッシュデリート]をダブルタップする。

② ACアダプターを接続する。（➔ 15ページ）

③ [削除開始]をタップする。
確認メッセージで[はい]をタップする。
データが削除されます。

④「バックアップデータの削除が完了しました。」のメッセージが表示されたら、OK をタップする。

お知らせ

- 次にワイヤレスディスプレイの電源を入れたとき、タッチパネルの補正（キャリブレーション）画面が表示されます。（➔ 16ページ）

■ 工場出荷時の設定に戻すには

電源オフの状態で、以下の手順を行ってください。

① ACアダプターを接続する。(➔ 15ページ)

② キーボードボタンとUSERボタン（➔ 36ページ）を押しながら電源ボタンを押し続け、フルリセットのメッセージが表示されたら手を離す。
- [パスワード入力] 画面が表示されたら、管理者パスワードを入力し、[OK] をタップする。

③ [はい]を選択する。

お知らせ

- 次にワイヤレスディスプレイの電源を入れたとき、タッチパネルの補正（キャリブレーション）画面が表示されます。（➔ 16ページ）

電源を入れる/切る

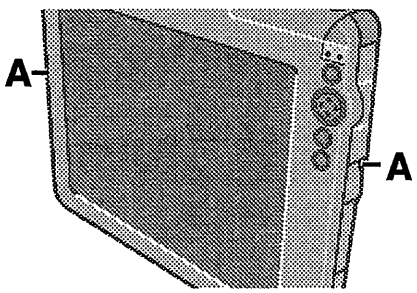
電源を切る

1　電源ボタンを1～2秒間押し、「電源を切る準備をしています...」のメッセージが表示されたら手を離す。

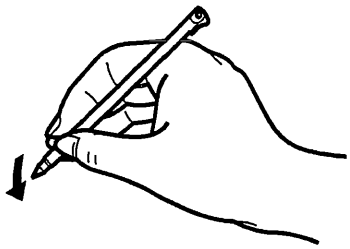
- 強制終了する場合は、電源ボタンを4秒以上押してください。

LCD（タッチパネル）

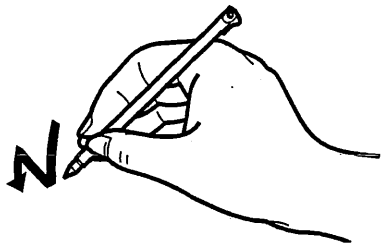
スタイラスペンを使う



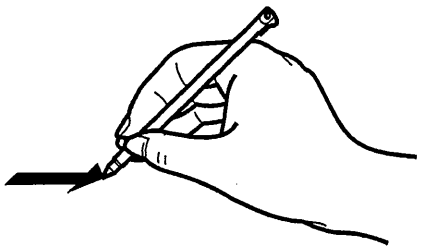
タッチパネル上で操作を行うときは、必ず付属のスタイラスペンを使用してください。スタイラスペンは、鉛筆のように握って使うことができるペン型の入力装置で、スタイラスペンホルダー（A）にセットされています。スタイラスペンを使って、以下のような操作が可能です。



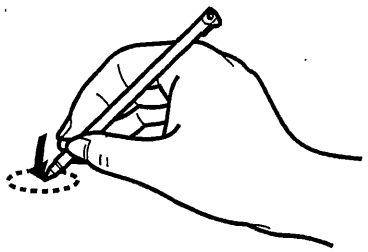
タップ
画面上を軽くたたくと、項目を選択することができます。この操作を「タップ」と呼びます。



ダブルタップ
画面上をすばやく 2 回たたくと、項目を開くことができます。この操作を「ダブルタップ」と呼びます。



ドラッグ
画面上の項目にペン先を置いて、そのまま画面をなぞっていくと、項目を移動させることができます。この操作を「ドラッグ」と呼びます。



タップアンドホールド
項目をタップし、そのままペン先を画面に付けた状態にしていると、その項目に対して実行可能な操作のリストが表示されます。（ポップアップメニュー）
表示されたポップアップメニューから、行いたい操作を選択して、タップしてください。

右クリック
右クリックの操作を行うことができます。
（➔ 36 ページ）

LCD（タッチパネル）

スタイラスペンの取り扱いについて

- ペン先とタッチパネルをきれいにしてからご使用ください。細かな汚れが付いていると、パネルに傷が付き、正常な動作を行えなくなるおそれがあります。
- 画面操作以外の用途で使用しないでください。他の用途に使用されますと、ペン先を損傷し、パネルを傷つけるおそれがあります。

タッチパネルの取り扱いについて

- 画面操作には、必ず付属のスタイラスペンをご使用ください。
- パネル上にものを置いたり、爪など先のとがったものや、ボールペンなど、硬くて跡が残るもので強く押さえたりしないでください。
- ほこりなどの汚れが付いたまま操作すると、パネルに傷が付くおそれがあります。また、油などの汚れが付くと、カーソルが正常に動作しなくなります。

タッチパネルの補正（キャリブレーション）をする

スタイラスペンでカーソルを思うように操作できないときは、タッチパネルの補正を行ってください。

① デスクトップ上の

をダブルタップし、[スタイラス]をダブルタップする。

② [タッチスクリーンの補正]タブをタップし、[再補正]をタップする。

③ 画面上に表示される＋マークに、付属のスタイラスペンで約1秒間タッチする。補正が完了したら、カーソルコントロールボタンの中央を押す。

画面を回転する

画面を回転させたいときは、以下の手順を行ってください。

① デスクトップ上の

をダブルタップする。

② [画面回転]をダブルタップする。

③ [0度(横向き)]、[90度]、[180度]、[270度]のうちいずれかにチェックマークを付け、[画面回転]をタップする。
設定したとおりに画面が回転します。

ボタンを押すと画面が回転するように、あらかじめ設定しておくことができます。

- 以下の手順を行ってください。（設定例）
  - 使用するボタン／ボタンを押す長さ：キーボードボタン／長押し
  - 角度設定：[0 度 (横向き)] と [90 度]

① デスクトップ上の

をダブルタップする。

② [ボタン]をダブルタップする。

③ キーボードボタン・長押しに[画面回転]を割り当て、OK をタップする。

④ [画面回転]をダブルタップする。

⑤ [0度(横向き)]と[90度]にチェックマークを付け、OK をタップする。

⑥ 上記の設定を保存する。
「初めて使うとき」の手順**9**を参照してください。（➔ 25ページ）

⑦ キーボードボタンを2秒以上押す。
画面が[90度]の位置まで回転します。
キーボードボタンをもう一度押すと、画面は[0度(横向き)]の位置に戻ります。

- 同様の操作を、Quick Menu 内のボタンに割り当てて行うこともできます。（➔ 37 ページ）

バッテリー

バッテリー状態表示ランプ

バッテリー状態表示ランプ	状態
消灯	バッテリーパックが装着されていないか、充電が行われていません。
オレンジ色点灯/明滅	充電中です。
緑色点灯	バッテリーは満充電されています。
赤色点灯	バッテリー残量が約 9%以下です。
赤色点滅	バッテリーパックまたは充電回路が正常に動作していません。
オレンジ色点滅	内部温度が充電可能な範囲を超えているため、一時的に充電ができません。

お知らせ

- 過充電を防ぐため、満充電後は、バッテリー残量が約95%以下になるまで再充電は行われません。

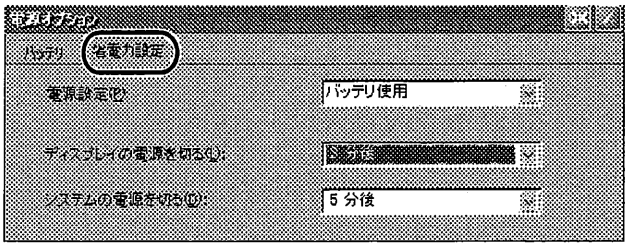
バッテリー残量を確認する

以下のいずれかの方法で、バッテリー残量を確認することができます。

- デスクトップ上の

をダブルタップし、[電源オプション]をダブルタップして、[バッテリ]タブをタップする。
- USER ボタン（工場出荷時の設定）を押して（➔ 36 ページ）、Quick Menu を表示させる（➔ 37 ページ）。

以下の手順で、省電力設定を行うことができます。
設定を行うと、
バッテリー使用時：バッテリー駆動時間が通常より長くなります。
AC アダプター接続時：消費電力を通常より減らすことができます。



●デスクトップ上の をダブル

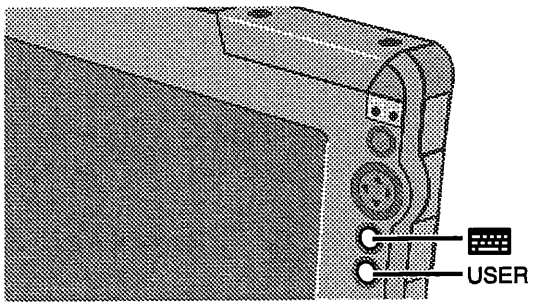
タップし、[電源オプション] をダブルタップして、[省電力設定] タブをタップする。[ディスプレイの電源を切る] の時間を短くするなど、詳細設定を変更することで、消費電力を節約することもできます。

バッテリーパックを交換する

バッテリーパックは消耗品です。バッテリー駆動時間が極端に短くなったら、指定のバッテリー (CF-VZSU44U) と交換してください。
バッテリーパックを取り外す／取り付ける：➔ 13 ページ

- AC アダプターを接続していないときは、5 分以内でバッテリーを交換してください。
  AC アダプターを接続していない状態で一定期間以上バッテリーを取り外したままにしておくと、日付と時刻の情報が消えます。この場合、新しいバッテリー装着後に [日付 / 時刻のプロパティ] 画面が表示されますので、正しい時刻と日付を設定しなおしてください。

ボタン

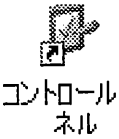


よく使う機能やアプリケーションをボタンに割り当てて表示できるように、あらかじめ設定しておくことができます。使用するボタンはキーボードボタン ⌨ と USER ボタン USER の 2 つで、各ボタンに 2 種類ずつの機能を割り当てることができます。
工場出荷時は、各ボタンに以下のアプリケーションが割り当てられています。

キーボードボタン	短押し (2 秒未満)	入力パネル (➔ 39 ページ)
	長押し (2 秒以上)	入力パネル選択 (➔ 40 ページ)
USER ボタン	短押し (2 秒未満)	Quick Menu (➔ 37 ページ)
	長押し (2 秒以上)	右クリック *1

*1 右クリック操作を実行するには：
① USERボタンを2秒以上押す。
次のタップが右クリック操作になります。
右クリック操作を1回行うたびに、上記①の手順を繰り返してください。
同様の操作を、Quick Menu（➔ 37ページ）から行うこともできます。

ボタンをカスタマイズする

① デスクトップ上の 

をダブルタップし、[ボタン]をダブルタップする。

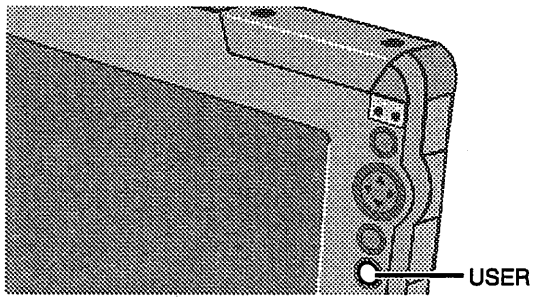
② [ボタン]画面が表示されたら、 をタップし、各ボタンの短押し／長押しに割り当てたい機能を選択する。

③ をタップする。

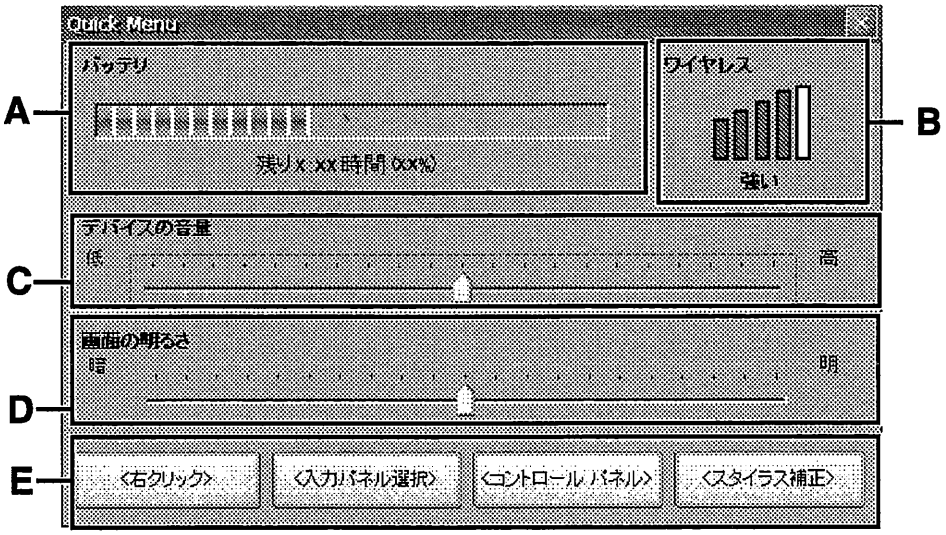
④ 上記の設定を保存する。
「初めて使うとき」の手順**9**を参照してください。（➔ 25ページ）

Quick Menu

Quick Menu では、ワイヤレスディスプレイについての情報を確認したり、よく使う機能やアプリケーションをワンタップですばやく立ち上げたりすることができます。(➔ 48 ページ).



工場出荷時は、USER ボタン USER を押すと Quick Menu が立ち上がるように設定されています。
Quick Menu の立ち上げかたを変更するには：
➔ 36 ページ



A. バッテリ
バッテリー残量を表示します。(コントロールパネルの [電源オプション] と同じ)

B. ワイヤレス
無線 LAN の電波状態を表示します。

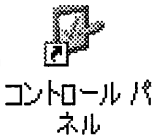
C. デバイスの音量
音量を調節します。(コントロールパネルの [ボリューム&サウンド] と同じ)

D. 画面の明るさ
タッチパネルのバックライトの明るさを調節します。(コントロールパネルの [バックライト] と同じ)

E. ボタン
よく使う機能やアプリケーションをワンタップで立ち上げることができます。工場出荷時は、[右クリック][*1]、[入力パネル選択] (➔ 40 ページ)、[コントロールパネル] (➔ 48 ページ)、[スタイラス補正] の 4 つが設定されています。

*1 右クリック操作を実行するには：
① [右クリック]をタップする。
次のタップが右クリック操作になります。
右クリック操作を 1 回行うたびに、上記の手順 ① を繰り返してください。
右クリック操作は、キーボードボタンまたは USER ボタンを使用して行うこともできます。(➔ 36 ページ)

ボタンをカスタマイズする

① デスクトップ上の 

をダブルタップし、[Quick Menu]をダブルタップする。
[QuickMenuアプリケーションと機能の設定]画面が表示されます。

② [1. ボタン選択]で、使用したいボタンを4つの中からひとつ選んでタップする。

③ [2. 機能設定]で をタップし、割り当てたい機能またはアプリケーションを選択する。

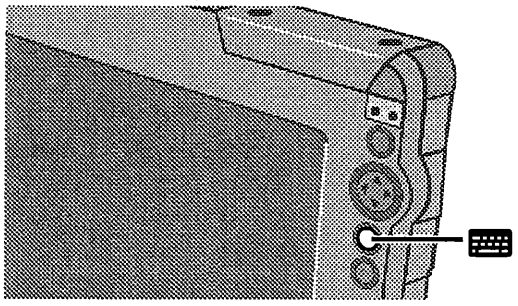
④

をタップする。

⑤ 上記の設定を保存する。
「初めて使うとき」の手順**9**を参照してください。（➔ 25ページ）

ソフトウェアキーボード

画面に表示したソフトウェアキーボードをタップして、文字や記号を入力することができます。



ソフトウェアキーボードを表示する／非表示にするには（工場出荷時の設定）：

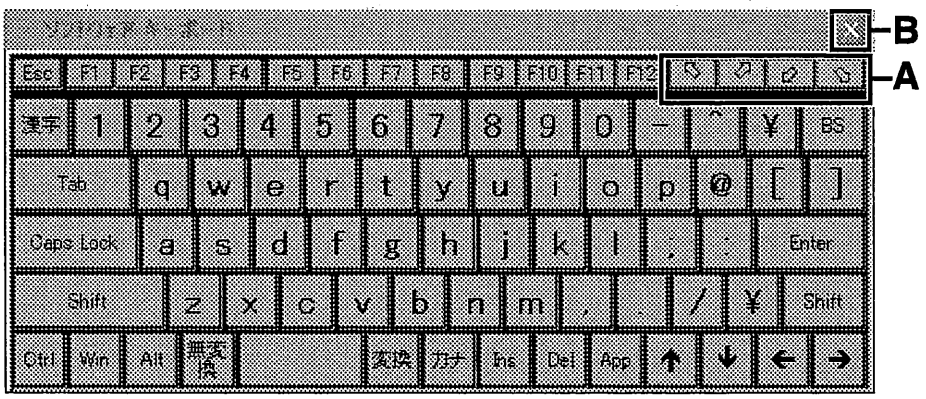
- キーボードボタン を押す（2 秒未満）。

■ 入力方法

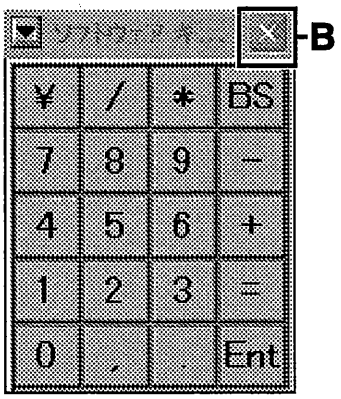
テンキー、フルキー、手書き入力の 3 種類があります。
テンキーとフルキーは、それぞれ大きく表示したり（大）、小さく表示したり（小）することができます。

- 手書き入力については、“手書き入力”を参照してください。（➔ 40 ページ）

フルキーとテンキー



フルキー



テンキー

A. キーボードを画面の端に移動します。

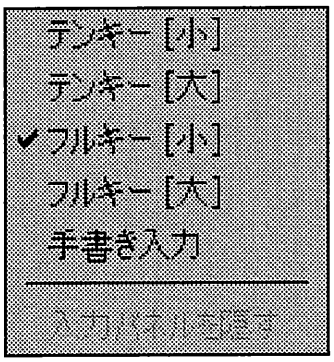
B. キーボードを閉じます。（非表示にします。）

ソフトウェアキーボード

■ 入力方法と表示サイズの切り替え

工場出荷時は、フルキー（小）を表示するよう設定されています。
以下のいずれかの手順で、設定を変更することができます。

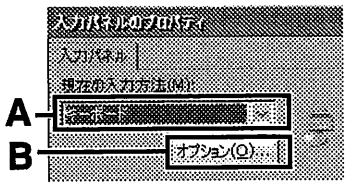
- 入力パネル選択画面で、表示させたい入力方法にチェックマークを付ける。



入力パネル選択画面

（工場出荷時、入力パネル選択画面は以下の方法で表示できるよう設定されています。）
- キーボードボタンを長押しする。（➔ 36 ページ）
- USER ボタンを短押し（2 秒未満）して Quick Menu を立ち上げ（➔ 37 ページ）、[入力パネル選択] をタップする。

- 以下の手順に従って [キーボードオプション] 画面を表示し、入力方法を選択する。
  ① コントロールパネルの[入力パネル]をダブルタップする。
  ② [入力パネルのプロパティ]画面で[キーボード] (A)を選び、[オプション] (B)をタップする。
  ③ [キーボードオプション]画面で入力方法や表示サイズを選択し、OK をタップする。
  ④ OK をタップする。



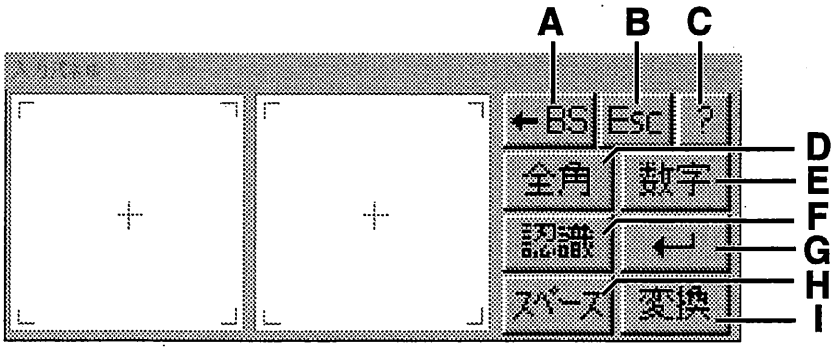
手書き入力

手書き入力は、タッチパネルにスタイラスペンで直接手書きして字や記号を入力する機能です。

■ 入力方法を手書き入力に設定する:

工場出荷時は、フルキー（小）を表示するよう設定されています。
以下の方法で、設定を変更することができます。

- 入力パネル選択画面（➔ 上記）で、[手書き入力] にチェックマークを付ける。
- コントロールパネルの [入力パネル] をダブルタップし、[手書き入力] を選択して OK をタップする。



A. バックスペース
テキスト入力ボックスの中に文字がある場合は、その文字を消去します。もしどちらのボックスにも文字がない場合はアプリケーションのカーソルの前にある文字を消去します。

B. エスケープ
操作をキャンセルします。

C. ヘルプ
ヘルプ画面を表示します。

D. 全角／半角
文字を入力する際に、全角と半角を切り替えます。

E. 数字
数字および記号を入力するモードに切り替えます。

F. 認識
テキスト入力ボックスに文字を書き込んだ後、このボタンをタップすると、最後に書いた文字が認識され、アプリケーションに表示されます。

G. エンター
アプリケーションの未確定の文字列を確定します。

H. スペース
スペースを入力します。

I. 変換
かな漢字変換を行います。また、すでに確定されている文字列を選択してこのボタンをタップすると、再変換を行います。

- Microsoft® リモートデスクトップ接続でサーバーに接続している場合、および Citrix® ICA ® Client で [無効にする IME の設定] として [クライアント側を無効にする] または、[クライアントとサーバーの両方] を選択してサーバーに接続している場合、手書き入力は使用できません。
また、このとき、フルキーのカナ表示への切り替えを行うと、ソフトウェアキーボードの表示と入力される文字が合わなくなることがあります。

サイン入力

サイン入力ツールは CF-08 上で起動し、接続先のサーバー上で開いているアプリケーションに手書きの文字や記号を入力することができます。
工場出荷時、サイン入力ツールを起動することはできません。サイン入力ツールを使う前に、以下の手順に従って起動できるように設定してください。

<table>
<tr><th>キーボードボタン または USER ボタンから立ち上げるとき</th><th>Quick Menu から立ち上げるとき
● 工場出荷時はUSERボタンを押すと Quick Menu が立ち上がるように設定されています</th></tr>
<tr><td colspan="2">① デスクトップ上の

をダブルタップする。</td></tr>
<tr><td>② [ボタン]をダブルタップする。</td><td>② [Quick Menu] をダブルタップする。</td></tr>
<tr><td>③ 使用するボタン（キーボードボタンまたはUSERボタン）のボタンを押す長さ（短押し／長押し）に対して[サイン入力ツール]を選び、OK をタップする。</td><td>③ ボタンを選び、[機能設定] から [サイン入力ツール] を選び、OK をタップする。</td></tr>
<tr><td colspan="2">④ 上記の設定を保存する。
「初めて使うとき」の手順9を参照してください。（➔ 25ページ）</td></tr>
</table>

■ **サイン入力ツールを使用するには:**

① キーボードボタン、USERボタンまたはQuick Menuでサイン入力ツールを開きます。

② ▼をタップし、[設定]をタップする。
線の幅と画像のサイズを設定します。

③ 字や記号を書き [キャプチャー]をタップする。
手書きで入力した字や記号が画像としてサーバー上にコピーされ、サイン入力ツールが閉じられます。

■ **サイン入力ツールで作成した画像を見るには：**

● サーバーがサイン入力ツールでデータを貼り付けられるように設定されているか確認してください

① サーバーに接続する（➔ 27ページ）

② [スタート] - [すべてのプログラム]- [アクセサリ]- [ペイント]の順にタップする。

③ [編集]- [貼り付け]をタップする。
サイン入力ツールで作成した画像が貼り付けられます。

SDメモリーカード

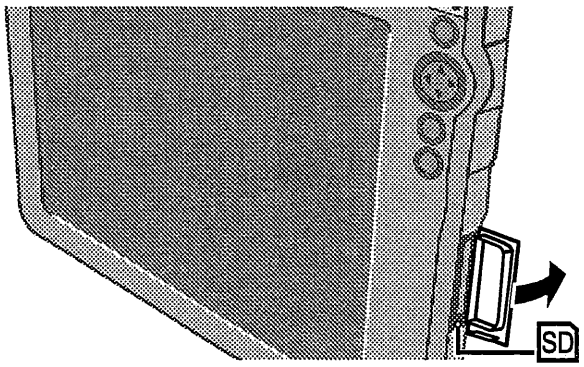
SDメモリーカードについて

SD メモリーカードは、次のような用途に使用できます。

- SD メモリーカードスロット搭載のデバイス同士でデータ交換を行う
- メモリーカードとして使用する（例：ファイルを保存するための記憶装置として使用する）

カードを挿入する／取り出す

1　SDメモリーカードスロットカバーを開き、SDメモリーカード状態表示ランプ[SD]が点灯していないことを確認する。



2　カードを挿入する／取り出す。

■ **カードを挿入する**

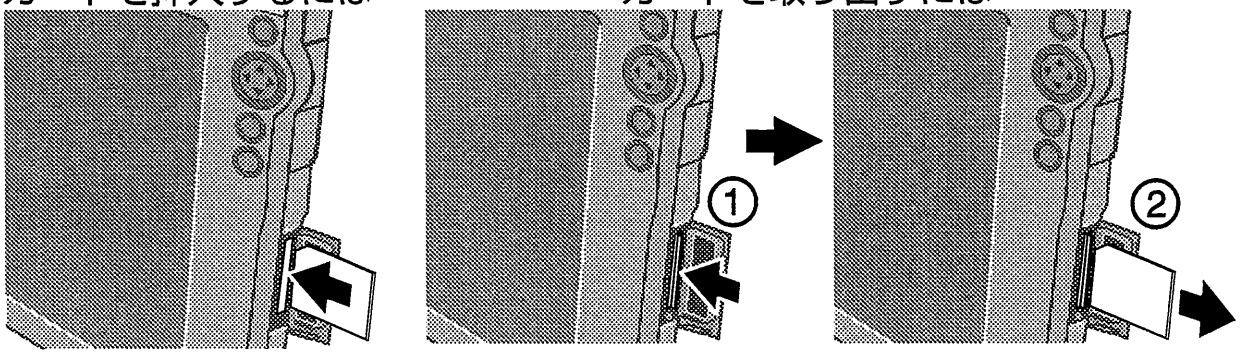
下図を参考に、カチッと音がするまでしっかり挿し込んでください。

■ **カードを取り出す**

① カードを指で押して、カチッと音がしたら指を離す。（指を離すと、カードが出てきます。）

② そのまま引き出す。

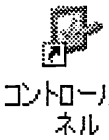
カードを挿入するには　　カードを取り出すには



3　SDカードスロットカバーを閉じる。

Bluetooth

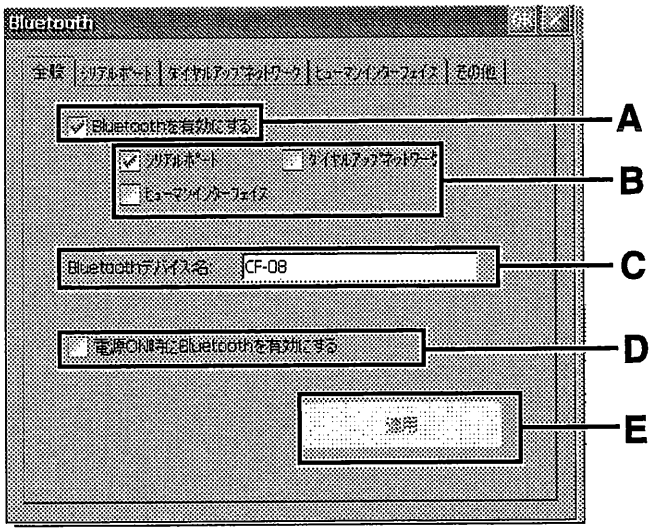
Bluetoothを有効にする

1　デスクトップ上の 

をダブルタップする。

2　[Bluetoothデバイスのプロパティ]をダブルタップする。

3　[全般]タブをタップして、必要な設定を行う。



A. Bluetoothを有効にする
チェックマークを付けて、Bluetoothを有効にします。

B. シリアルポート／ダイヤルアップネットワーク／ヒューマンインターフェイス
[シリアルポート]、[ダイヤルアップネットワーク]、[ヒューマンインターフェイス]のうち、使用したいインターフェイスにチェックマークを付けます。

C. Bluetoothデバイス名
本機のデバイス名を設定します。

D. 電源ON時にBluetoothを有効にする
ここにチェックマークを付けると、ワイヤレスディスプレイ起動時にBluetoothが自動的に有効になります。

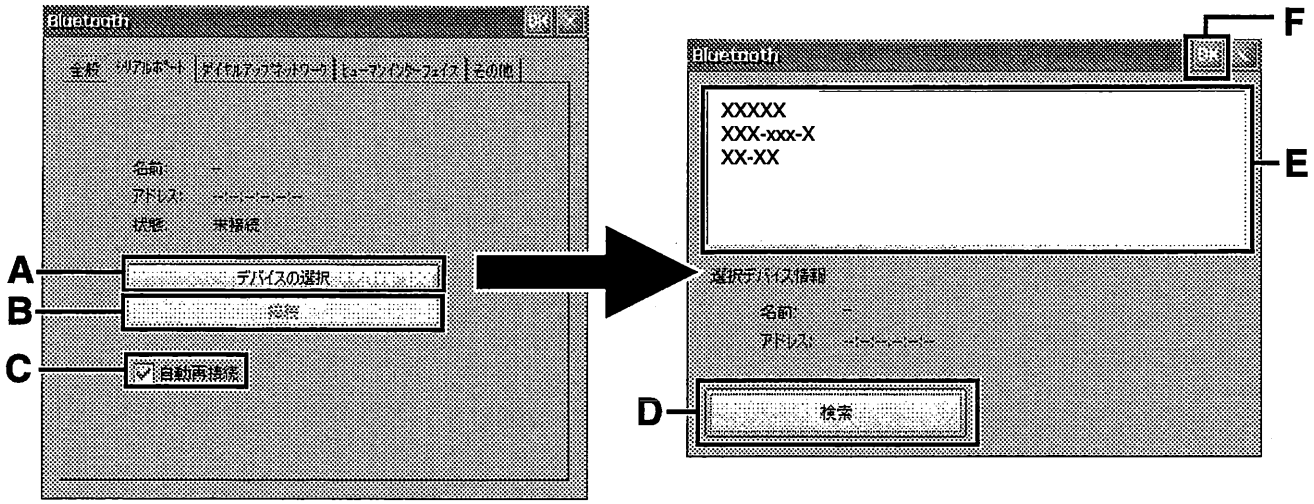
E. 適用
(➔ 下記参照)

4　**[適用] (E)をタップして、設定内容を反映させる。**
シリアルポートまたはヒューマンインターフェイスを使って接続する：
➔ 45ページ
ダイヤルアップネットワークを使って接続する：➔ 46ページ

5　**上記の設定を保存する。**
「初めて使うとき」の手順**9**を参照してください。(➔ 25ページ)

■ シリアルポートまたはヒューマンインターフェイスを使って接続する

[シリアルポート] タブまたは [ヒューマンインターフェイス] タブをタップして、以下の手順を行ってください。



(イラストは、シリアルポートを使って接続している場合)

- 手順は、お使いの Bluetooth デバイスにより異なります。詳しくはお使いの Bluetooth デバイスに付属の取扱説明書を参照してください。

① Bluetoothデバイスの電源を入れ、接続待ちの状態にする。

② [デバイスの選択] (A)をタップする。

- <シリアルポートを使って接続する場合のみ>
  [自動再接続] (C) にチェックマークを付けると、Bluetooth を有効にしたとき、接続が自動的に確立されます。

③ [検索] (D)をタップする。

④ リストボックス(E)から、接続したいBluetoothデバイス名を選び、タップする。

⑤ OK (F)をタップする。

⑥ [接続] (B)をタップする。

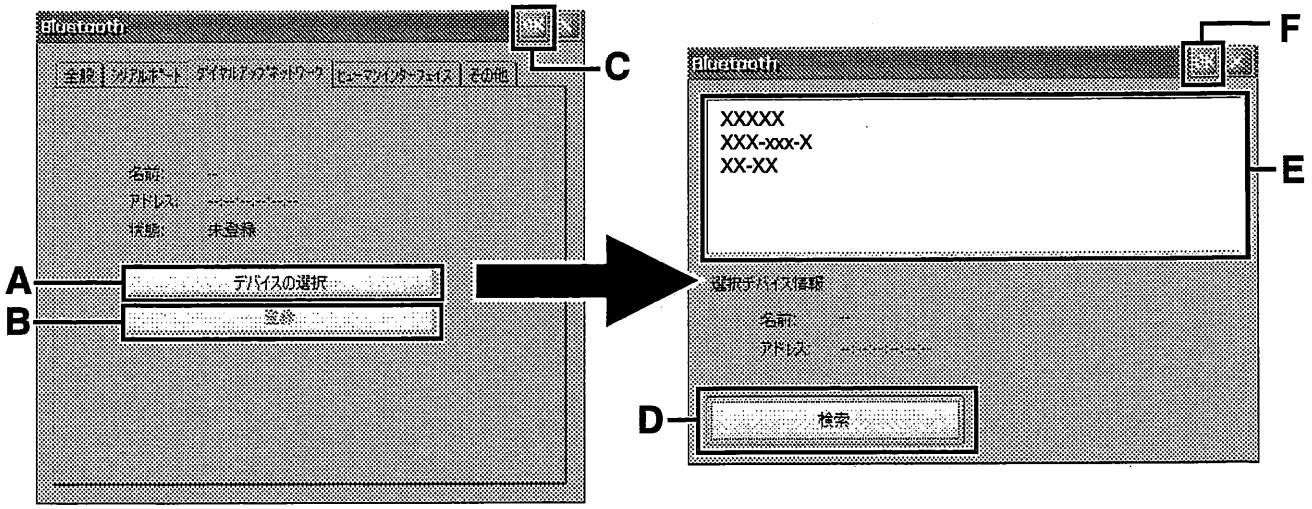
- [PIN コード入力] 画面が表示されたら、PIN コードを入力し、[OK] をタップする。

接続が確立されると、[状態]の欄に「接続中」と表示されます。

- 接続を切断するには
  [シリアルポート] タブまたは [ヒューマンインターフェイス] タブの [切断] をタップする。
  接続が切断されると、[状態] の欄に「未接続」と表示されます。
- <ヒューマンインターフェイスを使って接続を行う場合のみ>
  - [切断] をタップして接続を切断した場合、[接続] をタップするまで自動的に再接続が行われることはありません。
  - 再接続を行う際は、お使いの Bluetooth デバイスに付属の取扱説明書を参照してください。

■ ダイヤルアップネットワークを使って接続する

[ダイヤルアップネットワーク]タブをタップし、以下の手順を行ってください。



- 手順は、お使いの Bluetooth デバイスにより異なります。詳しくはお使いの Bluetooth デバイスに付属の取扱説明書を参照してください。

① Bluetoothデバイスの電源を入れ、接続待ちの状態にする。

② [デバイスの選択] (A)をタップする。

③ [検索] (D)をタップする。

④ リストボックス(E)から、接続したいBluetoothデバイス名を選び、タップする。

⑤ OK (F)をタップする。

⑥ [登録] (B)をタップする。

[PINコード入力]画面が表示されたら、PINコードを入力し、OK をタップする。

登録に成功すると、[状態]の欄に「登録済」と表示されます。

⑦ OK (C)をタップする。

⑧ コントロールパネルの[ネットワークとダイアルアップ接続]をダブルタップする。

⑨ [新しい接続]をダブルタップする。

⑩ [新しい接続]画面で[次へ]をタップする。

接続名を変更する場合は、[接続名：]のテキストフィールドに新しい名前を入力し、[次へ]をタップしてください。

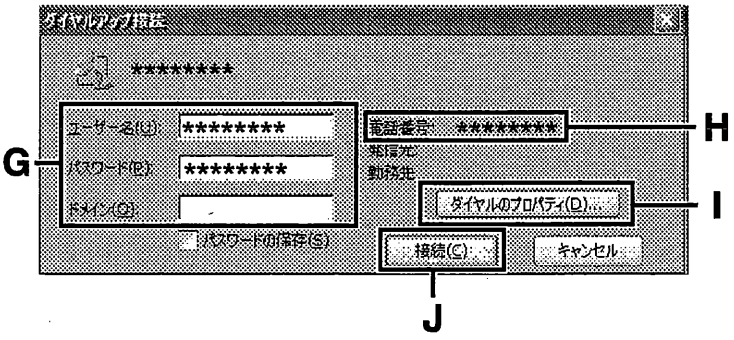
⑪ [モデム]画面で[Bluetooth Modem on COM7]を選択し、[次へ]をタップする。

⑫ [電話番号]画面で電話番号を入力し、[終了]をタップする。

⑬ コントロールパネルの[ネットワークとダイアルアップ接続]をダブルタップする。

⑭ 手順⑩で作成した接続名をダブルタップする。

⑮ [ダイヤルアップ接続]画面で、接続先の正式なユーザー名とパスワード、ドメイン名を入力する。(G)
手順⑫で入力した電話番号が「電話番号」(H)に正しく表示されていない場合は(表示されている桁数が多すぎるなど)、以下の手順を行ってください。
[ダイヤルのプロパティ] (I)をタップする。



↓

[ダイヤルパターン]をタップして、正しい番号を入力し、ok をタップする。

↓

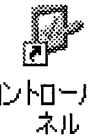
ok をタップする。

⑯ [接続] (J)をタップする。
接続が確立されると、「接続完了」と表示されます。

- 上記の設定を保存するには、「初めて使うとき」の手順 **9** を参照してください。(➔ 25 ページ)
- 接続を切断するには、接続の状態を示す画面の [切断] をタップしてください。
  接続の状態を示す画面が表示されていない場合は手順 ⑬、⑭ を実行してください。

コントロールパネル

コントロールパネルでは、本機で使用できるアプレットの一覧を見ることができます。アイコンまたは名前をダブルタップすると、アプレット画面が開きます。以下の手順で、各アプレットの詳細を表示することができます。

① デスクトップ上の 

をダブルタップする。

② [表示]をタップする。

③ [詳細]をタップする。

お願い

- 設定によっては、OK をタップするまで変更が適用されないものもあります。
  設定を変更した後には OK をタップしてください。

上手にお使いいただくために

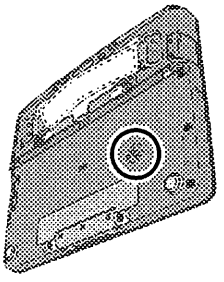
操作環境について

ワイヤレスディスプレイは平らで落下のおそれのないところに置いてください。また、立てて置いたりしないでください。倒れて本体に強い衝撃が加わると、誤動作や故障の原因になります。
適切な温度範囲：操作時：5 ℃～ 35 ℃
保管時：-20 ℃～ 60 ℃
適切な湿度範囲：操作時：30% RH ～ 80% RH（結露なきこと）
保管時：30% RH ～ 90% RH（結露なきこと）
上記の温度 ／ 湿度の範囲であっても、極端な環境で長時間ご使用になると、ワイヤレスディスプレイの劣化につながり、製品寿命が短くなる可能性があります。
ワイヤレスディスプレイが損傷するおそれがあるため、次の場所には置かないでください。
電気製品の近く。画像が乱れたり、雑音が起きたりすることがあります。
極端に高温または低温のところ。
操作中は、ワイヤレスディスプレイの温度が上昇しますので、熱に弱いものを近くに置かないでください。

取り扱い上のご注意

本機は、ディスプレイへの衝撃が小さく抑えられるよう設計されていますが、衝撃による故障は保証しかねます。取り扱いには十分注意してください。

- ワイヤレスディスプレイを持ち運ぶとき
  - ワイヤレスディスプレイの電源を切ってください。
  - 外部装置、ケーブル、カード、その他本体から突き出るものをすべて外してください。
  - 落としたり、硬いものにぶつけたりしないでください。
  - ディスプレイ部分を持って運ばないでください。
- 航空機には手荷物として持ち込んでください。航空機内での使用については、航空会社の指示に従ってください。
- 予備のバッテリーパックを持ち運ぶときは、コネクター保護のためビニール袋などに入れてください。
- 本機には、右のイラストの○で囲んだ部分に、磁石および磁気を帯びた部品が使用されています。これらの部分に、金属や磁気メディアを接触させないようにしてください。



- 付属のスタイラスペン以外でタッチパネルに触れないでください。タッチパネルの上にものを置いたり、跡が付くような先のとがったものや硬いもの（爪、鉛筆、ボールペンなど）で強く押したりしないでください。
- 画面にほこりや油などの汚れが付着したときは、スタイラスペンを使わないでください。画面やスタイラスペンに異物が付着していると、画面に傷を付けたり、スタイラスペンの操作ができなくなったりすることがあります。
- スタイラスペンは、画面操作以外の用途に使わないでください。別の用途に使うと、スタイラスペンが損傷したり、画面に傷を付けたりすることがあります。

周辺機器を使用する場合

周辺機器の損傷を防ぐため、下記の記載事項をお守りください。また、周辺機器の取扱説明書をよくお読みください。

- ワイヤレスディスプレイの仕様に合った周辺機器を使用してください。
- コネクターの形状、向きに注意して正しく接続してください。
- 接続しにくい場合は、無理に押し込まず、コネクターの形状、向き、ピンの並び方などを確認してください。
- ネジで固定する場合は、しっかり締めてください。
- ワイヤレスディスプレイを持ち運ぶときは、ケーブルを外してください。ケーブルは無理に引っ張らないでください。

お手入れ

■ 液晶ディスプレイ（タッチパネル）

付属の専用布をお使いください。（詳しくは、専用布に付属の『LCD 画面清掃についてのお願い』をご覧ください。）

■ 液晶ディスプレイ以外の部分

ガーゼなどの柔らかく乾いた布でふいてください。洗剤を使うときは、水で薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸し、固く絞ってください。

お願い

- ベンジンやシンナー、消毒用アルコールの使用はお避けください。塗装がはげるなど、塗装面に影響を与えるおそれがあります。また、市販のクリーナーや化粧品にも、塗装面に影響を与える成分が含まれている場合があります。
- 水や洗剤を直接かけたりスプレーしたりしないでください。水分が内部に浸入すると、誤動作や故障の原因になります。

無線LANご使用時のセキュリティについて

工場出荷時、無線 LAN のセキュリティに関する設定は行われていません。
無線 LAN をご使用になる前に、必ず無線 LAN のセキュリティに関する設定を行ってください。
無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに電波を利用してワイヤレスディスプレイと無線 LAN アクセスポイント（別売り）との間で情報のやりとりを行います。このため、電波の届く範囲であればネットワーク接続が可能であるという利点があります。
その反面、ある範囲であれば障害物（壁等）を越えて電波が届くため、セキュリティに関する設定を行っていないと、次のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
  悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、次のような通信内容を盗み見る可能性があります。
  - ID やパスワード
  - クレジットカード番号等の個人情報
  - メール内容
- 不正に侵入される
  悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のパソコンやネットワークへアクセスし、次のようなことを行う可能性があります。
  - 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏えい）
  - 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
  - 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
  - コンピューターウイルスなどを流し、データやシステムを破壊する（破壊）

本機の無線 LAN 機能や無線 LAN アクセスポイントには、これらの問題に対応するためのセキュリティに関する設定が用意されています。本機では、使用する無線 LAN アクセスポイントにあわせて設定をする必要があるため、お買い上げ時にはセキュリティに関する設定は行われていません。無線 LAN をご使用になる前に、必ず無線 LAN のセキュリティに関する設定を行ってください。
無線 LAN のセキュリティに関する設定を行って使用することで、問題が発生する可能性は少なくなりますが、無線 LAN の仕様上、特殊な方法で通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする場合があります。ご理解のうえ、ご使用ください。
セキュリティに関する設定を行わないで使用した場合の問題を十分に理解したうえで、お客さま自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行うことをお勧めします。お客さまご自身で対処できない場合は、お客様ご相談センターにご相談ください。

困ったときのQ&A

トラブルが発生したら、以下の方法を試してください。ソフトウェアに関するトラブルについては、ソフトウェアに付属の取扱説明書を参照してください。
どうしても原因が分からない場合は、ご相談窓口にご相談ください。

■ 起動時の問題

起動できない。電源状態表示ランプまたはバッテリー状態表示ランプが点灯しない。	● ACアダプターを接続してください。 ● 満充電されたバッテリーを装着してください。 ● バッテリーパックとACアダプターを一度取り外し、再度取り付けてください。
電源が入らない。	● 本機を5℃以上の環境下に約1時間置いてから、再度電源を入れてください。
パスワードを忘れた。	● 管理者パスワードまたはユーザーパスワードを忘れた場合：ご相談窓口にご相談ください。
日付と時刻が正しく表示されない。	● 正しく設定しなおしてください。デスクトップ上の コントロール パネル をダブルタップし、[日付 / 時刻]をダブルタップしてください。
その他の問題が起きる場合	● すべての周辺機器を取り外してください。

■ 画面表示

画面に何も表示されない。	● 省電力機能によって画面の電源がオフになっています。再度オンにするには、液晶画面に触れてください。 ● 省電力機能によってワイヤレスディスプレイの電源がオフになっています。再度電源を入れるには、電源スイッチを押してください。
画面が暗い。	● バックライトを調節してください。バックライトを明るくすると、バッテリー駆動時間は短くなります。

■ タッチパネル

カーソルが動かない。	● マウスを使用している場合は、きちんと接続されているかどうか確認してください。
付属のスタイラスペンで正しい位置を指定できない。	● タッチパネルの補正（キャリブレーション）を行ってください。（➔ 32 ページ）

■ シャットダウン時の問題

シャットダウンできない。	● 電源スイッチを 4 秒以上長押しして、強制終了させてください。

■ 音声

音が出ない。	● [Quick Menu] またはコントロールパネル内の [ボリューム＆サウンド] で、ボリュームを確認してください。
音声をステレオで聴くことができない。	● 音声の再生状態は、お使いのサーバーによって異なります。 • Microsoft® リモートデスクトップ接続または Web サーバーを使って接続している場合は、ステレオ音源であっても、モノラルで再生されます。 • Citrix® Presentation Server 4.0 を使って接続している場合は、Citrix に付属の取扱説明書を参照してください。

困ったときのQ&A

■ 無線通信

ネットワークに接続できない。	● ネットワークの設定を確認してください。 ● 他の無線 LAN アクセスポイントによる影響を受けている可能性があります。 各アクセスポイントがそれぞれ異なるチャンネルに設定されているかどうか確認してください。
ローミング方式を変更したい。	● 以下の手順で、ローミングを開始する電波の強さを設定することができます ① デスクトップ上の をダブルタップし、[ネットワークとダイアルアップ接続]をダブルタップする。 ② [WIRELESS LAN 11BG1]をダブルタップし、[詳細設定]タブをタップする。 ③ 設定したいローミング電波強度を選択する。 ④ 上記の設定を保存する。 「初めて使うとき」の手順**9**を参照してください。 (➔ 25ページ)

■ 周辺機器

外部接続のキーボードやマウスで操作ができない。	● キーボードやマウスが正しく接続されているかどうか確認してください。 ● 同時に2つのマウスを接続しないでください。
印刷ができない。	● プリンターの接続を確認してください。 ● プリンターの電源が入っているかどうか確認してください。 ● 用紙切れや紙詰まりを起こしていないか確認してください。 ● プリンターの電源を入れ、本機に接続してから、本機の電源を入れてください。

■ その他の問題

応答がない。	● 電波状況が悪いため、画面の内容が正しく表示されていない可能性があります。電波の良い場所で接続しなおしてください。 ● 電源スイッチを4秒以上押して本機の電源を切り、再度押して電源を入れてください。

ソフトウェア使用許諾書

第１条　権利

お客さまは、本ソフトウェア（本機や付属のマニュアル、CD-ROM などに記録または記載された情報のことをいいます）の使用権を得ることはできますが、著作権がお客さまに移転するものではありません。

第２条　第三者の使用

お客さまは、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェアおよびコピーしたものを第三者に譲渡あるいは使用させることはできません。

第３条　コピーの制限

本ソフトウェアのコピーは、保管（バックアップ）の目的のためだけに限定されます。

第４条　使用コンピューター

本ソフトウェアは、本機１台での使用とし、他の機器で使用することはできません。

第５条　解析、変更または改造

本ソフトウェアの解析、変更または改造などを行わないでください。お客さまの解析、変更または改造により、万一何らかの欠陥またはお客さまに対する損害が生じたとしても弊社および販売店などは一切の保証・責任を負いません。

第６条　アフターサービス

お客さまが使用中、本ソフトウェアに不具合が発生した場合、弊社窓口まで電話または文書でお問い合わせくだされば、お問い合わせの不具合に関して、弊社が知り得た内容の誤り（バグ）や使用方法の改良など必要な情報をお知らせいたします。

第７条　免責

本ソフトウェアに関する弊社および販売店などの責任は、上記第６条に限ります。本ソフトウェアのご使用にあたり生じたお客さまの損害および第三者からのお客さまに対する請求については、弊社および販売店などに故意または重過失がない限り、弊社および販売店などはその責任を負いません。

第８条　合意管轄

本ソフトウェアの使用に関して、訴訟の必要が生じた場合、お客さまおよび弊社は弊社の本社所在地を管轄する裁判所に対してのみ訴えを提起することができるものとします。

第９条　準拠法

本ソフトウェアの使用はあらゆる面において日本国の法律に支配され、かつそれに従って解釈されるものとします。

第 10 条　輸出管理

お客さまが、本ソフトウェアを日本国外に持ち出される場合、国内外の輸出管理に関連する法規を順守してください。

仕様

■ 本体仕様

機種名		CF-08TX2CX1J
CPU		インテル® PXA270 プロセッサー 312 MHz
メモリー (ROM/RAM)		64 MB (Flash) /64 MB
表示方式		10.4 型 TFT カラー液晶（XGA、タッチパネル付）
	内部 LCD	65536 色 (1024 × 768 ドット)
無線 LAN		IEEE802.11b/IEEE802.11g (➔ 58 ページ)
Bluetooth		➔ 59 ページ
LAN		10Base-T /100Base-TX
サウンド機能		PCM 音源（16 ビットステレオ）、モノラルスピーカー
カードスロット	SD メモリーカード*1	× 1、データ転送速度 =4.8 MB/ 秒 *2
インターフェース		USB ポート× 1 (USB1.1)、LAN コネクター (RJ-45)、拡張バスコネクター (専用 16 ピン)、 マイク入力端子 (3.5φ モノラルミニジャック)、 オーディオ出力端子 (3.5φ ステレオミニジャック、インピーダンス 32Ω 出力 4mW × 2)
ボタン		電源スイッチ、USER ボタン , キーボードボタン、カーソルコントロールボタン (Enter ボタンを含む)
ポインティングデバイス		タッチパネル [AR(Anti-Reflection) 処理]、スタイラスペン（付属）使用
電源		AC アダプターまたはバッテリーパック
AC アダプター*3		入力：AC100V ～ 240V　50 Hz/60 Hz 出力：DC16V　2.5A
バッテリーパック		7.4 V（リチウムイオン）、5.2 Ah
	駆動時間*4	約 4.5 時間～ 14 時間*5 （約 7 時間*6）
	充電時間*4	約 4 時間
消費電力*7		最大約 30 W (電源オンの状態で充電時) （社）電子情報技術産業協会 情報処理機器 高調波電流抑制対策実行計画書に基づく定格入力電力値：10W 23-J-1-1
外形寸法（幅×高さ×奥行き）		267 mm × 208 mm × 36 mm (突起部を除く)
質量		約 1.2kg

仕様

使用環境条件	温度：5 ℃～ 35 ℃ 湿度：30%RH ～ 80%RH（結露なきこと）
保管環境条件	温度：-20 ℃～ 60 ℃ 湿度：30%RH ～ 90%RH（結露なきこと）
OS	Microsoft® Windows® CE 5.0 Professional
ソフトウェア名	Microsoft® リモートデスクトップ接続、Citrix® ICA® Client、Microsoft® Internet Explorer 6.0

*1 容量 2 GB までの Panasonic 製 SD メモリーカードで動作確認済み。
すべての SD 機器との動作を保証するものではありません。
本機はマルチメディアカードや SDHC メモリーカードには対応していません。これらのカードは挿入しないでください

*2 理論値であり、実効速度とは異なります。高速転送速度に対応しているカードを使っても、転送速度は速くなりません

*3 本製品は一般家庭用の電源コードを使用するため、AC100 V のコンセントに接続して使用してください。(➔ 5 ページ)

20-J-1

*4 動作環境・システム設定により変動します。

*5 画面の明るさ：最大／最小のとき

*6 画面の明るさ：工場出荷状態のとき

*7 バッテリーパック満充電時（または充電が行われていないとき）、電源オフの状態で約 0.9W。

■ 無線 LAN

データ転送レート *8	IEEE802.11b: 11 Mbps / 5.5 Mbps / 2 Mbps / 1 Mbps（自動切替） IEEE802.11g: 54 Mbps / 48 Mbps / 36 Mbps / 24 Mbps / 18 Mbps / 12 Mbps / 9 Mbps / 6 Mbps（自動切替）
準拠規格	ARIB STD-T66 IEEE802.11b / IEEE802.11g（無線 LAN 標準プロトコル）
伝送方式	OFDM 方式、DS-SS 方式
使用無線チャンネル	インフラストラクチャ通信モード : 1 ～ 11 チャンネル ad hoc 通信モード : 1 ～ 11 チャンネル
RF 周波数帯域	2.4 GHz 帯（2.412 GHz ～ 2.462 GHz）

*8 IEEE802.11b/IEEE802.11g 規格の理論上の値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

■ Bluetooth™

Bluetooth バージョン	1.2
伝送方式	FHSS 方式
使用無線チャンネル	1 ～ 79 チャンネル
RF 周波数帯域	2402MHz ～ 2480MHz

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。 2-J-1

本装置は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じる場合があります。
（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示） 3-J-1-1

重要なお知らせ

- お客さまの使用誤り、その他異常な条件下での使用により生じた損害、および本機の使用または使用不能から生ずる付随的な損害について、当社は一切責任を負いません。
- 本機は、医療機器、生命維持装置、航空交通管制機器、その他人命にかかわる機器 / 装置 / システムでの使用を意図しておりません。本機をこれらの機器 / 装置 / システムなどに使用され生じた損害について、当社は一切責任を負いません。
- お客さままたは第三者が本機の操作を誤ったとき、静電気などのノイズの影響を受けたとき、または故障 / 修理のときなどに、本機に記憶または保存されたデータなどが変化 / 消失するおそれがあります。大切なデータおよびソフトウェアを思わぬトラブルから守るために、➔ 49 ～ 51 ページの内容に注意してください。

仕様

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報
この記号はヨーロッパ連合内でのみ有効です。
本製品を廃棄したい場合は、日本国内の法律等に従って廃棄処理をしてください。

36-J-1

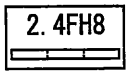
日本国内で無線 LAN ／ Bluetooth をお使いになる場合のお願い

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止したうえ、ご相談窓口にご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えばパーティションの設置など）についてご相談ください。
3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときには、ご相談窓口にお問い合わせください。

この機器が、2.4 GHz 周波数帯（2400 から 2470.75 MHz）を使用する直接拡散（DS）方式／直交周波数分割多重変調（OF）の無線装置で、干渉距離が約 40 m であることを意味します。

25-J-1-1



この機器が、2.4 GHz 周波数帯（2400 から 2483.5 MHz）を使用する周波数ホッピング（FH）方式の無線装置で、干渉距離が約 80 m であることを意味します。

保証とアフターサービス

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、「サポートデスク」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みの後、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間
［消耗品（➔ 63 ページ）を除く］

■ 補修用性能部品の保有期間 6年

当社は、このワイヤレスディスプレイの補修用性能部品を、製造打ち切り後6年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 海外での使用について

本製品は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。海外での使用について、当社では一切責任を負いかねます。

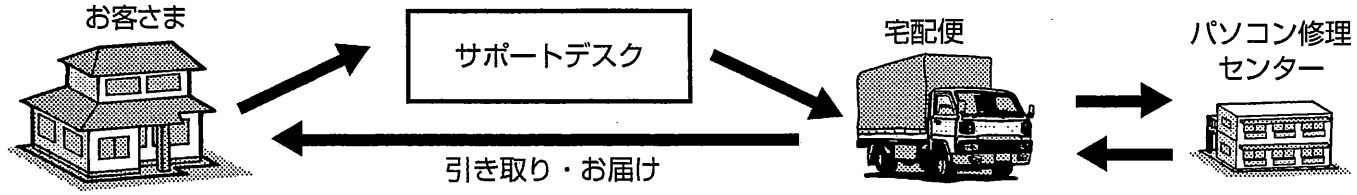
また、当社では本製品に関する海外でのアフターサービスおよび消耗品、別売品の供給は行っておりません。

This product cannot be used in foreign country as designed for Japan only.

修理を依頼されるとき

「困ったときのQ&A」に従ってご確認の後、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、サポートデスクへご連絡ください。

修理時に、当社指定の宅配業者が専用梱包箱を持ってパソコン修理品の引き取りにお伺いし、修理が完了した後、直ちに宅配業者がお届けする、早くて便利な修理サービスを実施しております。



- 保証期間中は
  保証書の規定に従って修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品と保証書をご準備いただき、サポートデスクにご相談ください。また、引き取り修理の送料は当社が負担させていただきます。

- 保証期間を過ぎているときは
  修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。また、引き取り修理の送料はお客さまのご負担となります。

保証とアフターサービス

- 修理料金の仕組み

  修理料金は、技術料・部品代・送料などで構成されています。

  技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

  部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

  出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

- ご連絡いただきたい内容

製品名	ワイヤレスディスプレイ
品番	CF-08TX2CX1J
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://askpc.panasonic.co.jp/index.html

修理に関するご相談

サポートデスク

電　話 フリーダイヤル **0120-05-8729**
フリーダイヤルを利用できないお客さまは
011-858-7221

ＦＡＸ ナビダイヤル(全国共通番号) **0570-00-8742**
ナビダイヤルを利用できないお客さまは
011-858-7223

受付時間　9時～21時
年末年始(12/30～1/4)を除く

商品についてのお問い合わせは

パナソニックパソコンお客様ご相談センター

電　話 フリーダイヤル **0120-873029**（パナソニック）

ＦＡＸ **(06)6905-5079**

365日／受付9時～20時
(パソコン製品の使い方や技術的なご質問も承っております。)

(日本国内からのお問い合わせのみ)

2008年4月1日現在

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い
パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客さまの個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

消耗品・有寿命部品について

ワイヤレスディスプレイの部品は、使用しているうちに少しずつ劣化・摩耗します。また、一部の部品の劣化・摩耗が原因で、製品としての性能が十分に発揮されない場合があります。
ワイヤレスディスプレイを長く、安全に使用していただくためには、劣化・摩耗した部品を交換することが必要です。
当社では、劣化・摩耗の進み方の違いによって、部品を消耗品と有寿命部品に分類して扱っています。

種類	部品	備考
消耗品	バッテリーパック スタイラスペン スタイラスペン用コード 保護フィルム	• お客さまご自身で購入し、交換していただく部品です。 • 保証期間内でも有償です。
有寿命部品	LCD（液晶ディスプレイ） AC アダプター ハンドストラップ	• 修理による再生ができない場合（部品の寿命）に交換する部品です。 • 保証期間内の修理は無償ですが、部品の寿命による交換は、有償になる場合があります。 ※ 有寿命部品の交換の目安は、事務室で8 時間/1 日、250 日/1 年の使用で約5 年です。ただし、昼夜連続して使用するなど、使用状態によっては保証期間内でも部品の寿命による交換が必要になる場合があります（有償になる場合があります）。

愛情点検	長年ご使用のワイヤレスディスプレイの点検を！		
	こんな症状はありませんか	◈ 異常なにおいや音がする ◈ 水や異物が入った	このような症状のときは故障や事故防止のため、電源を切って電源プラグを抜き、その後バッテリーパックを取り外して、必ずご相談窓口に点検をご依頼ください。

パナソニック株式会社　ITプロダクツ事業部
〒570-0021　大阪府守口市八雲東町一丁目10番12号
© Panasonic Corporation 2007
Printed in Japan

FJ0407-3088
DFQW5081YA